

会長のページ 地域医療の原点 .....	河野 雅行	3
日州医談 医師国保のメリット .....	佐々木 究	4
随 筆 ハーバード大学医学部教授随行記 .....	山口 和正	6
老いに気付くとき .....	谷口 二郎	8
パッケン岩 .....	石橋 俊秀	10
旅 行 記 日本縦断ドライブ その2 .....	高崎 眞弓	12
エコー・リレー (603) .....	杉田 直大, 井手 秀幸	15
メディアの目 初めての入院, 初めての断テレビ, 初めてのオールネット社会 .....	寺田 健吾	16
身近なお困りごと相談室 .....	高山 桂	17
国公立病院だより 都農町国民健康保険病院 .....	吉村 学	24
宮崎大学医学部だより 宮崎大学附属図書館医学分館 .....	桂木 真司	26
専門分科医会だより 内科医会 .....	玉置 昇	27
診療メモ 冬の感染症について .....	山中 篤志	62
宮大医学部学生のページ 宮崎大学学園祭 第21回清花祭 .....	大出水 幹	64

あなたできますか? (令和6年度医師国家試験問題より) .....	14
宮崎県感染症発生動向 .....	18
日赤だより .....	21
各郡市医師会だより .....	22
各種委員会 (医学会誌編集委員会) .....	28
九州医師会連合会第425回常任委員会 .....	30
ベストセラー .....	31
日医インターネットニュースから .....	32
医師協同組合だより .....	34
会員の異動・変更報告 .....	36
理 事 会 日 誌 .....	38
県 医 の 動 き .....	42
ドクターバンク情報 .....	43
行 事 予 定 .....	49
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 .....	51
あ と が き .....	72

お知らせ 日医ペイハラ・ネット相談窓口を開設しました .....	29
「新春随想」原稿募集 .....	35
令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生採用のお願い .....	41
日州医事へのご意見・ご感想 .....	47
医師年金ご加入のおすすめ .....	61
郡市医師会への送付文書 .....	66
医療勤務環境改善支援センター .....	70
日州医事原稿募集のお知らせ .....	71

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

### 干し柿はじめ

晩秋の日南，実家の軒下。渋柿の皮をむいて熱湯につけた後，吊るして数日経った様子です。高齢の母に代わり，毎年の行事を初めて私自身で行いました。朝晩の冷気で水分が抜け，毎日揉むことで甘みが増していきます。これから2～3週間で渋みが抜けていく干し柿と，自身の初遂行をかけた題目としました。

日南市 ふくおか しゅうじ  
福岡周司

## 会長のページ

## 地域医療の原点

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

医師が患者さんとともに疾病に立ち向かう。これこそが地域医療の原点で古来より不変です。しかし、残念ながら現在は原点どおりにはできなくなりつつあります。問題はいくつか考えられますが、第一に、人口の高齢化が進む中で医療費の増加が問題とされ、国が医療費抑制策に力を入れてきた結果、医療機関の経営が厳しくなっていることです。自分自身にゆとりがない状況では、とても医療の将来像にまで構想を持つことはできません。

次に、人口問題を主とした社会構造が変化しており、疾病も複雑化し、治療も高度化しています。個々の医師が原点に立ち返るだけでは現代の医療は行えません。チーム医療と表現されるように、人員のみならず、医療機器、環境まで集中的に対応されなければなりません。当然、それに要する費用も増えます。財政的な理由から医療制度は頻繁に改定され今では複雑怪奇になっています。第一線の現場では頻回の制度変革に付いて行けない状態です。医師も患者さんも制度に振り回されて混乱しています。

さらに、国の政策だけではなく疾病に対する考えが医師と患者さんとの間で乖離しているのかもしれない。地域医療の範疇に入れるには疑問のある医療行為（一部の自由診療の美容など）や医療類似行為も患者さんに受け入れられて広まっています。

やはり、医療の在り方を見直し、原点に立ち返る必要があるのではないのでしょうか。これは一朝一夕にできることはありません。30年、50年先を見据えて学生募集や定員まで含めた医学教育の在り方から再検討する必要があります。

介護保険が始まった当初、施行しながら考えて改変するとされましたが、今となっては介護報酬の想定以上の増大に頭を悩ませているようです。このようなことは医療にも当てはまるのではないのでしょうか。中枢では小さな改変にしかすぎないことでも、末端での振幅は大きくなり、我々現場の医療者も国民も右往左往しなければなりません。

先述のように医療の原点から外れて、経済や労使、政治などの要素が複雑に絡みあっているのが地域医療の現状です。医師が医療のみに専念できる状況ではありません。手枷、足枷、口枷をはめられた状態で、十分な医療を行えと要求されても無理があります。医療人材の確保困難、医師の高齢化や承継問題、人件費アップや物価高騰なども重く押し掛かり、医療を辞めてしまう医師が増加しています。医師が経営も含めて安心して医療に専念できる環境が欲しいものです。

(令和7年10月15日)

## 日州医談



## 医師国保のメリット

宮崎県医師会 理事 さ さ き 佐々木

きわむ 究

## はじめに

医師会の組織強化のために、宮崎県医師国民健康保険組合（医師国保）のメリットを説明する機会がありましたのでそれをまとめてみました。なお加入条件や保険料に関して不明な点があれば医師国保にお問い合わせください。

## 1 加入条件

県内で医療に従事している医師とその家族が対象です。医師は宮崎県医師会員であることが条件です。

組合員には3つの勤務形態があります。

- 1) 開業医
- 2) 勤務医：雇用主が医師国保組合員であることが条件です。
- 3) パートの勤務医、国公立病院勤務医で共済組合や協会けんぽが適用にならない方、など

国公立病院勤務の方は共済組合、民間病院勤務の方は協会けんぽが適用となります。病院以外に勤務の方でもすでに共済組合や協会けんぽに加入中の方は、退職でもない限り医師国保に加入することはできません。

## 2 保険料の比較

家族構成、収入によって保険料が異なりますので、勤務形態ごとにモデルケースを用いて説明します。

## 1) 開業医

法人事業所は協会けんぽ、個人事業所は市町村国保に加入することもできます。し

たがって医師国保は協会けんぽ、市町村国保より低い保険料でなければ存在意義がありません。モデルケースでは医師国保は協会けんぽ、市町村国保よりも低い保険料です（図1）。協会けんぽは労使で折半するとはいえ、医師国保の3倍の保険料です。医師国保のメリットが理解できると思います。

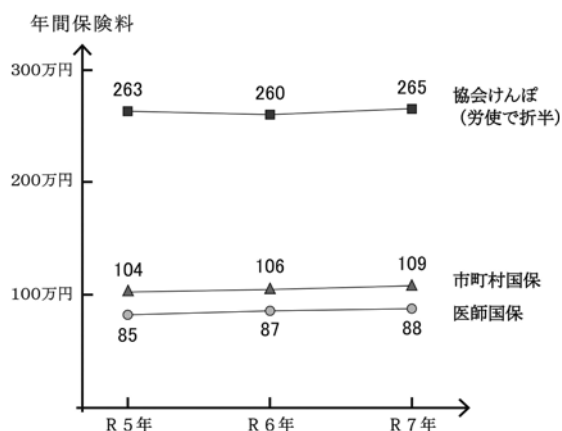


図1 開業医の保険料  
モデルケース（A会員55歳 年収2500万円、妻 年収600万円、子ども一人）、令和5・6・7年度

## 2) 勤務医

勤務医の場合は協会けんぽとの比較になります。モデルケースの場合は、医師国保は年間70万円。協会けんぽは178万円で、医師国保の2.5倍です。これを雇用主と折半すると89万円ずつになります（図2）。医師の負担は協会けんぽより低くなります。最大のメリットは、医師国保であれば雇用主の負担がなくなり、医療機関の経営改善につながることです。

ここで注意しなければならないのは、医師国保は自家診療の保険請求を自粛していることです。医師が自分の勤める医療機関で別の先生の診療を受けた場合、また自分の家族を診療した場合、医師国保では原則、保険請求ができません。

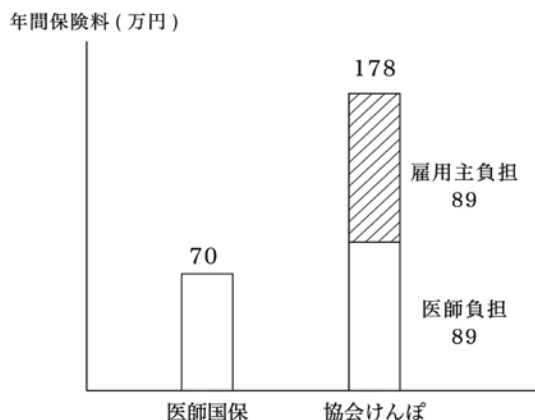


図2 勤務医の保険料  
モデルケース（B会員50歳 年収1500万円、  
妻 年収なし、子ども一人）。  
令和7年度

### 3) パートの勤務医、国公立病院などで共済組合や協会けんぽが適用にならない医師

このケースでは市町村国保との比較になります。年収がおおよそ500万円以上であれば医師国保の方が保険料は低額です（図3）。ある県では大学院の先生方が医師国保に加入されて好評とのことでした。

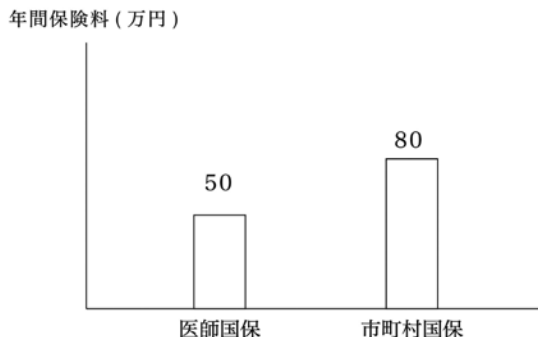


図3 パートの勤務医等の保険料  
モデルケース（B会員30歳 年収800万円、  
妻 年収なし、子ども一人）。  
令和7年度

### 3 なぜ医師国保の保険料は低額なのか

いくつかの理由がありますが、最大の要因は医師国保では自家診療の保険請求を自粛していることです。それには歴史上の経緯があります。医療関係者はあらゆる職種の中で、最後まで国民健康保険に加入できませんでした。要するに「あなた方は自分たちで治療できるでしょう。その代わり保険料は納めなくてよいですよ」ということです。1958年に医師国保の設立が許可されたときも、自分たちで治療できることは自分たちで行い、保険料を安くしようということになりました。また国の医療財政に負担をかけないということで、比較的裕福な組合にもかかわらず、補助金がおける正当な理由になっています。医師国保の根幹にかかわる部分ですのでご理解ください。

### 4 保健事業の充実

各保険者の保健事業は以下のとおりで、医師国保は保健事業が充実しています。

市町村国保：特定健診・特定保健指導

協会けんぽ：特定健診・特定保健指導、生活習慣病予防検診（がん検診含む）

医師国保：上記に加え、各種がん検診、歯科検診、予防接種、など

### おわりに

医師国保は開業医のみならず勤務医、パートの勤務医、大学院生などにもメリットがあり、医師会の組織強化に貢献できるものと考えます。医師国保としても、今後もこのような情報を積極的に発信し、組合員の増加に努めていきます。

## 随 筆

## ハーバード大学医学部教授随記

日南市 愛泉会日南病院 <sup>やま</sup>山 <sup>ぐち</sup>口 <sup>かず</sup>和 <sup>まさ</sup>正

「山口くん、どうしよう、待つことはできないと書いてあるけど、怒っているのかね？」とA先生が英語の手紙を持ってきた。そこには“I can’t wait to see you …”の文が。

「せ、先生、これは会うのを楽しみにしていますということで…」手紙の送り主はハーバード大学の教授だった。「おお、そうかね、よかったよかった」とA先生は胸を撫で下ろした。

A先生は脳性麻痺をライフワークとして長年にわたり熱心に取り組んでいるドクターである。脳性麻痺の早期診断を極めようと日々奮闘し、ついには新生児室にまで入り込み診察をするようになった。そこでブラゼルトン新生児行動評価NBASに出会い、ハーバード大学医学部ブラゼルトン教授に連絡をとるようになった。A先生も英語は堪能で、英語論文もよく読み執筆もされるが、中高の英語教師そのものが英会話は苦手で、授業はもっぱら受験用英文法という昭和に我々は育った。自分もビートルズが好きだからちょっと英会話をかじっただけで、英検3級もとっていない。ブラゼルトン教授の研究テーマの一つは、「民族や文化の違いにおける新生児の行動の相違」であるが、生まれたての新生児の行動に文化的社会的差異があるなんて、島国に住む日本人の誰が思うだろう!? 今まで中南米やアラスカなどいろんな地域で新生児行動がリサーチされてきたらしい。それを日本でやりませんか、日本に来てNBASの指導をお願いしたいと言うのがブラゼルトン教授に対するA先生のお誘いである。

情熱あるところに道は開ける。A先生の求めに応じてブラゼルトン教授が日本にやって来る

ことになった。五島列島をフィールドにして新生児のリサーチを行うという。何で新生児の日本代表が五島列島なのか、いまいよくわからなかったが、「それでね、山口君、教授に同行して現地ガイドを頼むよ!」と突然の指令である。他の上司の先生たちは仕事で忙しい、何の役職もない若手の自分ならしばらく現場を抜けても支障なかろうと言われればそれまでである。こちらも1年間ほどフランス語圏で仕事をした経験から、言葉が通じないことには「慣れて」いた。まあフランス語よりは英語の方がまだマシだろう。スマホ翻訳などない時代で、第三子の出産も間近ではあったが、かくしてハーバード大学教授随行という大役を務めることになった。大変なことになったとは思ったが、お会いしてみると何とも気さくな優しい教授で終始にこやかで怒ったりされることはなかった。

五島でのリサーチは割と順調に進んだ。出産直後は産科の病院で診察し(産科の先生がいろいろ面倒見てくださった)、以後は生後一か月頃自宅でというのが基本だった。病院で何度か評価をやっていることもあり、在宅訪問でも思ったよりスムーズにことは運んだ。ある漁村ではおばあちゃんが同席して心配そうに出迎えてくれた。大きな外人さんを見て不安気な表情は隠せない。ためらいがちに泣いている赤ちゃんを私に見せてくれた。赤ちゃんは、自分があやしてもなかなか泣き止まなかったが、教授が抱っこして“Hey come on baby, come on”とか言いながら優しくあやすと、スッと泣き止み、ゆっくりと教授のあやすのにあわせて頭を回転し声のする方に顔を向けた。それを見ていたお

ばあちゃんは「ありゃ〜、こん子は生まれたばっかいとに英語がわかるとばい?!」と目を丸くしていた。NBASを受けた赤ちゃんはよい人生を送ると言う都市伝説がある。これだけ素晴らしいコミュニケーション能力を目の前で示されれば、おそろかに扱われるはずがない。大事に大事に育てられるはずだ。単なる評価にとどまらず、そんな赤ちゃんの素晴らしい能力を養育者に示し、母子相互作用を促すのも目的の一つである。都市伝説もあながち根拠のないことではない。英語もわかる赤ちゃんは当然高い評価になった。しかし待てよ、大人が赤ちゃんを評価するんだけど、その前に赤ちゃんが大人を評価してない？ 田舎の未熟医者とハーバード大学医学部教授の差を露骨に評価してないか?! これは自分の至らなさ加減が赤ん坊の何の付度もない行動を通して白日の元に晒される、恐ろしい相互評価法だ。

予定が混んでおり名所旧跡巡りなどはしなかったが、好奇心旺盛な教授だった。リサーチで家々を回っている途中で、赤い涎掛けをつけた像を見つけてはwhat is this? 子どもをお守りする仏様で、お地藏様と言います、おばあちゃんなどがよく孫の健康をお祈りして涎掛けを掛けたりしています。ああそうですか、路傍の小児科医ですね。などと日常に日本の地方文化を楽しんでおられた。いつもにこやかな教授だったが一度だけ険しい表情になったことがある。町中を歩いている時、「何だこれは?!」と一瞬厳しい声になった。視線の先にはお寺の卍のマークが! いやこれはナチスの紋章ではなくてお寺を表すもので、と一応は説明したが、その由来やハーケンクロイツとの違いなど詳しいことは知らない。今ひとつ納得できない風であった。英語力の前に、やはり大事なものは日本語力であるのを痛感した。

無事に島でのリサーチも終わり長崎港について家に電話したら、「昨日もう産まれたわよ」と言われた。出産予定日にはまだ日があり、離島巡りで数日家と連絡を取っていなかった。教授にその旨告げると、Congratulations, すぐ子どものところへ行きなさいと促された。そして2日後忙しいスケジュールの合間を縫って病院を訪れ、優しく抱き上げ素晴らしい赤ちゃんですと評価、祝福して下さった。その様子を撮影

した一枚は我が家の宝となった。A先生も「目線が合っていてこれは良い写真だ」と至って気に入入り、学会発表などにも使ってくださいました。

その後も何回かリサーチや講演会、講習会のため教授は来日された。時には空港からホテルへの途中で我が家にも寄ってもらい、妻の手料理でもてなした。国際的にまだ日本食が一般的ではなかったころで、海苔やおにぎりなど一つひとつが珍しかったようだ。驚いたことに、客人なのに食事の後、何のてらいもためらいもなく自ら食器を流しまで運んだり、気さくなアメリカ人そのままだった。客人のハーバード大学教授が食器の後片付けを率先してやるのである。ホスト側の田舎医者がやらないわけにはいかない。その後食器の後片付けは皆で率先してやるのが我が家の家訓になった。

ハーバード大学名誉教授として、東京へ最後の講演に来られたころはもう大分足元がおぼつかない感じではあったが、五島でのリサーチはしっかり覚えておられた。日本の新生児は非常に穏やかで落ち着いた良い反応を示してくれました、感情の起伏が激しい、ドラッグやアルコールに溺れたような環境と違い、日本の母親が育むたおやかな子宮内環境は素晴らしい育児環境ですと賞賛されていた。赤ちゃんは、生まれたてでもすでに母の子宮内で10か月間の社会生活を営んでいるというのが教授の説くところである。AIロボットの自力運動学習において、子宮に見立てた環境で学習させた方が、壁や天井のない二次元空間よりも遥かに学習効果が高いというのをTVで見て、またブラゼルトン教授との日々を懐かしく思い返した。



コロナで自宅謹慎中の徒然なるままに

## 随 筆

## 老いに気付くとき

宮崎市 谷 口 二 郎  
たに ぐち じ ろう

人間は誰でも年をとる。当たり前のことだが仕方ないことだ。同級生などと一緒に行動すると、なんとじいさんみたいなことをやっているんだとイライラすることも多い。しかし考えてみれば、自分も同じようなことをやっていることに気付く。

今まで階段を登る時は2段飛ばしであっという間に駆け上がっていた。それが今はエレベーターを必ず利用している。エレベーターのない施設では階段の手すりをしっかりと握りしめ登っている。登るときはそうでもないが、降りる時は手すりを必死で掴んでいないといけない。10回に1回位はそれでも足を踏み外し、階段から転げ落ちそうになる。この年齢になると手すりにしがみつくという行為は恥でも何でもない。それを周りの人に若くみせようとさっそうと降り、階段から転げ落ち、救急搬送される人もいる。ヘタすれば骨折や頭部を打ち、寝たきりになることもあるから要注意である。

しかし自分でも気がつかないことも多い。例えばスーパーなどにある手押しカート。若いころは入口にあるカゴをさっと取り、買うものはその中に入れ、手にぶら下げて買い物をしていた。ところが気がつくと、たった数点のものを買うのにもカートを利用する。これがまた便利なのである。買ったものをカゴに入れカートの上に置くと両手が空く。つまりカゴをいちいち下に置かなくても商品を手にとることができる。そう、持つ労力もかがむ労力も全く要らないのである。

最近ではスーパーのカゴ位の大きさのカゴを売っている。1つ4-500円ぐらいである。私はこれをよく利用する。やり方はそのカゴをスーパーに持参していき、買ったものはまずスーパーのカゴに入れる。レジのところで持参した

カゴをレジと一緒に出すと、それにつめてくれるのである。つまり会計後自分でレジ袋に入れなおす必要がない。しかも店員がきれいにつめてくれるので助かる。会計が終わればそのままカートで車まで運び積むだけである。これで例えば玉子が割れたり（今まで4～5回ある）、寿司がひっくりかえって魚の上に寿司メシが乗っていたり、イチゴが潰れたりすることなくなつた。まあ自宅からカゴを持っていく手間を考えるとちょっとめんどくさいが、年寄りにはいい方法である。

スーパーで年を感じるのは他にもある。それはレジ袋に買ったものをつめる所にあるロール状のポリ袋である。煮魚などのパックはそのまま入れると中の汁が出てくることがある。一度大丈夫だろうと思いそのまま入れたら、レジ袋の中がこぼれた煮汁でベタベタになり大変な思いをしたことがある。それ以来そういうものを買うとき、必ずその小袋に入れることにしている。

しかしその小袋につめようとロール状のものを引っ張り開こうとするが、それが中々難しい。若いころは簡単にできたが年老いると難しい。仕方ないのでそばに置いてある濡れたタオルで指を湿らせ開けている。年を取ると体の細胞に水分が少なくなるのでカサカサになり、そういう行為が難しくなるらしい。

スーパーのレジではいろんなことが起こる。ある日レジでカード決済をしようとリーダーに入れたら、使用不可という表示。何回やってもだめなので店員に「このカードリーダー壊れますよ」と強い口調で言った。すると店員が「お客様、上下逆向きに入ってます」顔から火が出るほど恥ずかしかった。

他の店ではレジの出口で何かもめている。未払いの客がいるという。袋づめしながらそんな



客がいたらどんな客か顔を見たいもんだと思っていたら私の方へ店員が飛んできて「お客様まだお支払いされてませんよね」そうだ。レジ袋の横でカゴを受け取ってそのまま袋づめしていたのだ。ああ何ていうこと！

若いころは人より歩くのが早かった。同級生と中学校に行く際「おい谷口、もっとゆっくり歩いてくれよ」とよく言われていた。60代になると少し歩くのが遅くなった。通勤中の人と並んで歩いていても追い抜かれるようになった。しかも小柄な女性でさえ私より速いのだ。そこで女性から追い抜かれないように必死で歩き、ようやく平行して歩くことができる。しかし最近はそれも難しい。

地鶏が好きでよく店で注文したのであるが、最近は注文しないようにしている。それはコリコリして硬いというもあるが、肉片が歯の間にはさまる。そこでつまようじでそれを除こうとすると、歯肉を傷つけてしまい、その部分が赤くなり痛くなる。気が付くと次の日に必ず歯科医院を受診するはめになるのである。だから隣の客が美味しそうに食べているのを指をくわえて見ている。

若い人たちとカラオケに行き吉田拓郎、井上陽水、アリスなどの古い曲を歌っても誰もその歌手も曲も知らない。それは私が今流行のadoやMrs.GREEN APPLEの曲を知らないのと同じである。淋しい限りだ。

バイキング形式のレストランやホテルで目の前に美味しそうな料理が並んでいる。それを皿に盛り、張り切って食べようとしても残ってしまうのである。バイキングで申し訳ないとも思いつつ完食は難しい。

スーパーなどで惣菜などを選ぶときもそうだ。ご飯のおかずにとはいくつか買い求める。だが晩ご飯では食べ切れないので、結局次の日の昼の食事用となる。頭の中で食べられるという量と胃袋が食べたいという量に差があるのだ。その比率は5割くらいである。つまり買う量を半分にすればいいのだが、これがまたそう上手くはいかない。

若いころは車を何台も乗り換えていた。最初はブルーバード。それからコロナ、シビック、RX7、ジープ、ゴルフ、ジムニー、エスティマ、BMW、ビート、ジープ、RAV4、レクサスなどなど。それに乗りいろんな所に旅行した。泊まる所はユースホテルや民宿など安い宿であったがとても楽しかった。

今の世代はあまり車に興味はないみたいだが、我々の世代は車の種類によってその人の価値というものが決まっていた。だからよりいい車を持ち回すことがその人のステータスにつながっていた。自分の車をきれいに磨き、他人に自慢していた。ところが年老いると車は常に物を運ぶという役割に変わってきた。気がつけば後ろの方を車庫の壁にこすり、いたる所にかすり傷ができ、それを修理する気にもならなくなった。ただ動けばいいのである。

運転していても東西南北の方向感覚が衰えてきている。多分カーナビのせいだろう。年寄りなどの逆走などが問題になるが、何となく分かる気がする。やはり年老いたら十分運転には気をつけないといけいないのだ。

街を歩いていると、信号待ちのときなんかどこかに腰かけたくなる。ガードレールや車両止め、ステンレスパイプなどを見つけると、よいしょとその上に座り込む。信号が変わるほんの数秒であるがとても助かる。たった100mを移動するのでもそのザマである。

昔は立ち飲みをよく利用していた。いわゆる角打ちというモノである。20年前位から増え始めた。とにかく安い。ツマミもそこそこ美味しいし、店主との会話もはずむ。今や宮崎には10軒以上もあり、17時ごろの早い時間からいっぱい、店によっては路上飲みになっている所もある。しかし最近気楽に行っていないのに気付いた。というのはイスがないので立ち続けて飲まなきゃいけない。1、2杯ではまだ大丈夫だが、4、5杯になると足が疲れてくる。知らないうちに体力がもたなくなっているのだ。だから最近は立ち飲みには足が遠のいた。

一番ショックだったのは先日行われていた市郡産婦人科医会のときだ。美味しい食事会が終わりかけたとき、スタッフが「先生最後の締めをお願いします」と耳元でささやいた。そんな私より年上の偉い先輩方がたくさんいらっしゃるはずなので「私より上の先輩がたくさんいらっしゃるでしょ。だから私じゃない人を…」と言うと「先生が今日参加されている中では最年長なんです。だからお願いします」

見渡すと確かに県病院、大学病院、市郡医師会の先生方などばかりで私が一番年上だ。ちょっとショックを受けながらも壇上に上がり一本締めでしめくくった。やはり自分は若いと思っていた、トコロテンのように押し出されるのだなと思いつつ帰路についた。

## 随 筆

## パッケン岩

延岡市 井上病院 <sup>いし</sup>石 <sup>ばし</sup>橋 <sup>とし</sup>俊 <sup>ひで</sup>秀

コンピュータゲームのキャラクター「パックマン」に似ていることから、「延岡のパッケン岩」が有名になった。<sup>ししがわ</sup>鹿川キャンプ場の駐車場に駐車し、カエルの駐車料金箱に210円入金した。パッケン岩目指して、11:50山登り開始。少し進むと、パッケン岩・国見山・鉾岳（標高1,272m）・鬼の目山（1,491m）方面の標識が出ていた。

5～8分進むと、鉾岳大明神の鳥居とパッケン岩に似た岩を数個見つけた。全面が機械で切られたような絶壁だったが、パッケン岩の口や下顎のような物は見られなかった。とりあえず、「パッケン岩もどき」と呼ぶことにする。更に7分くらい進むと、パッケン岩よりもかなり大きい（高さ約10m・横幅約20m）、パッケン岩もどきも見つけた（写真1）。



写真1 パッケン岩もどき

20～30m置きにピンクのリボンが木に結び付けてあって、進行方向を指示してくれたの

で、迷子にならずに済んだ。所々に「山頂」という看板が設置されていたが、山頂までの距離や時間の目安は表示されていなかった。

久々の登山で疲れたので、30分毎に小休止した。12:40ごろ、日本最大級の1枚岩「鉾岳雌スラブ」が立ちはだかった。日本一のスラブと言われている。高さは100m以上で、仰ぎ見ても頂上が見えなかった。また、横幅も大き過ぎて不明だった。

上流を目指して5分くらい進むと、流れが急な小川が見えた。先日の雨で流量が増えていて、橋の手前の岩が濡れて滑りやすくなっていたので、慎重に渡河した。その先の金属製橋には赤いロープが渡してあったので歩き易かった。パッケン岩の少し手前に100m以上かと思われる大滝が落ちていて、流量が豊富で、爆音を響かせていた（写真2）。13:00ごろ、やっと「パッケン岩」が見えた。その先に細長い小滝が落ちていた。水量は少なかったが、エメラルドグリーンの水溜まりがとても綺麗だった。本道から、ロープを伝って川岸まで降りてパッケン岩を写真撮影した（写真3）。パックマンを3つの部分に分けてみた。上部を頭と上顎、中央部を口、下部を下顎と仮定すると、中央部がドリリングマシンで人工的に切断されたように見えた。そこで昼食休憩して、13:20ごろ、下山開始した。

家に帰って、延岡観光協会の巨大パッケン岩

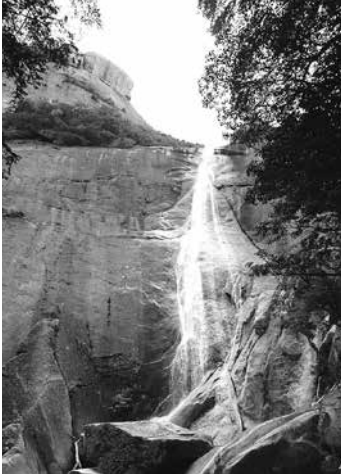


写真2 鉾岳雌スラブと大滝



写真3 パックン岩

に7人の男女が乗っている写真を見直した。女性の身長を1.6mと仮定して、パックン岩の大きさを推定してみた。上部は高さ2.7m・横幅

5.8m, 中央部は高さ1.6m・横幅約5.6m, 下部は奥行き0.6m・横幅6.4mとなった。

帰りがけにピンクのツツジの花びらが落ちていた。上を見上げたら、3か所だけ「ツクシアケボノツツジ」が咲いていた。14:20ごろ、スタート地点にやっと戻って来た。

インターネットで「パックン岩」と検索したら、「のべおかのパックンいわ」という本を見つけた。miyazaki ebooksでテレビ絵本の読み聞かせをされていて、電子ブックも紹介していた。後で延岡市図書館に行ってみたら、「のべおかのパックンいわ」という本が2020年に延岡市役所が発行元となって出版されていて、貸出しも可能だった(写真4)。料金は記載していないので、非売品のようだ。



写真4 「のべおかのパックンいわ」の絵本

## 旅行記

## 日本縦断ドライブ その2

宮崎<sup>たか</sup>市<sup>さき</sup>高<sup>ま</sup>崎<sup>ゆみ</sup>真<sup>弓</sup>

## 街中をかつぼするエゾシカ

北海道は野生動物の宝庫だ。反対車線で足をひかれたらしいキツネが、前足を振っていかにもSOSを伝えているように見たが、なすすべもなく止まらずに通り過ぎた。

宮崎のわが家にエゾシカ頭部の剥製があるが、北海道へ来てエゾシカの多いのに驚いた。なんと国道の路肩で草をはむ。稚内駅の近くで筆者の車の前を3頭が横切り、1頭は反対車線にきた車にためらい、しばらく歩道を移動した。この鹿たち、芝生に入り芝をはむ。

ドライブしていると「鹿の飛び出しに注意」の標識がいたるところにある。さてどう注意すればよいのか。地元の人に聞くと、鹿は数頭続いて飛び出してくるから、すぐ止まってやり過ごすのがよいと。

## 医者になったころ勤務した街

北海道の最後は函館。昔々、短期間だが市立函館病院に勤めていた。55年前だ。当時この病院はベッド数800床の大病院で、すでに麻酔科はもちろん集中治療室もあり、呼吸不全の患者に人工呼吸療法を施していた。筆者が専門とする麻酔科は、まだ人数が少なくきわめて多忙であったことを思い出す。

今回初めて五稜郭を訪れたが、江戸時代によくも星形の西洋式城郭を造ったものだ。男子トラピスト修道院へも行ったが、中へは入れないので、満開の八重桜を眺めながら修道院のソフトクリームを食べた。北海道のソフトクリームは、本州のものと比べて別格だといわれているが、さすがにうまい。

後輩の麻酔科医2人と夕食のテーブルを囲み、お互いの健康を祝って杯をあげた。昔机を並べた仲間で楽しい談笑になったが、今ではお互いに管理職の難しさを語る。

翌朝フェリーで大間に渡り、日本三大霊場の恐山菩提寺を見物。火山で熱湯が吹き出すところに寺がある。境内にぽつんと掘立て小屋の温泉があるではないか。湯を浴びて小屋の前で涼んでいる者がいた。



恐山菩提寺境内の男湯

## ときには温泉を楽しむ

酸ヶ湯の近くは道の両側に雪が残る。八甲田連峰はまだ冬だ。翌朝登山口の駐車場をのぞくとスキーとスノウボードを準備して出かける2人組がいた。

酸ヶ湯温泉に泊まったのは、「ヒバ千人風呂」を経験するためだ。「ヒバ千人風呂」には洗い場がないので、まず「玉の湯」に入って汗を流

し、夕食後に千人風呂に入った。脱衣所は男女別々だが、中は混浴。ヒバの香りはない。薄暗く湯気で人の顔などよく見えない。混浴だが、朝夕に女性専用の時間が設けられている。それ以外は24時間いつでも利用できる。翌朝6時にも入浴、爽快で活動の喜びが湧く。ここは湯治旅館だから炊事場や食器棚がある。でもそれらしき人はいない。皆観光客だ。

今回の日本一周ではときどき温泉に泊まった。尾瀬を歩いた後は水上温泉、車山・霧ヶ峰を歩いた後は下諏訪温泉。山歩きのための温泉はなかなかよいものだ。

### ある旅の出会い

蓼科高原の白樺湖へ向かう道の両側は、新緑の白樺で覆われていた。霧ヶ峰へ向かって高度を上げると、眼下の新緑に囲まれた白樺湖がまことに美しい。路肩に車を止め、しばし眺めていた。すると、後ろに止まっていた赤い車から女性が降りて、こちらへ歩いてくる。

「珍しく宮崎ナンバーだから、私高鍋の出身なの、今も墓が高鍋にあるので年に1、2回行くの。宮崎から来たのですか」と聞く。「北海道の知床、宗谷岬を回って、宮崎へ帰る途中ですよ」「うらやましいな、私も車が好きで天候の良いときは、こうして1人で出てくるの。今は小諸に住んです」「ドライブとはいいいじゃないですか」と、相づちを打つと、「80代なんだけど。私の旧姓はおぐらですが、今はこだます」と、名前まで言う。とっさに「チキン南蛮のおぐらさんですか」と聞くと、「そこは関係ありませんけど」。

筆者はこの後車山肩へ行き、車山と霧ヶ峰を散策する予定なので、早く解放してもらいたいのだが、女性の話は止めどなく続く。何とか20～30分で解放されたが、偶然の出会いは面白い。

### コロボックルヒュッテ

蓼科から美ヶ原までの高原道路・ビーナスラインがいつ造られたか知らないが、標高1,800mの高原まで簡単に上げてくれる。八ヶ岳を眺めるこの高原・花咲く湿原は、はるか昔から登山家に親しまれてきた場所だ。

この高原の車山肩に手塚宗求という方がコロボックルヒュッテを作り、登山者を受け入れた

のは、およそ70年前のことである。この方は文筆家でもあり「山小屋の文人」と呼ばれ、数々の著作を残している。筆者の書棚に『邂逅の山』というエッセー集がある。いつの日か、この山小屋に足を踏み入れてみたいと思っていた。今、目の前に「Hutte KOROBOCKKURU Since 1956」がある。この山小屋の前をビーナスラインが通っている。山小屋を作った手塚宗求は、こんな山の上に道が造られるとは思ってもしなかったであろう。

昼近くでヒュッテのカフェは混んでいたが、外のテーブルでボルシチとパン、それにサイフォンに入れたコーヒーを飲んだ。

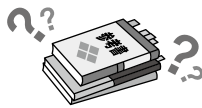
### 津波の記憶を紡ぐ

青森・岩手・宮城県の三陸海岸と福島県に東日本大震災の伝承施設が、何と67か所もある。もっとも直接死と行方不明が多かったのは、石巻市である。次に死者が多かったのは陸前高田市だ。いつとき東北自動車道を離れ、三陸沿岸の高田松原と石巻南浜の津波復興祈念公園を回った。

大川小学校のように児童74人と教職員10人が犠牲になったところもあれば、門脇小学校のように児童・教職員全員が裏の日和山へ避難して無事だったところもある。危機管理と訓練がいかに大切であるか思い知らされた。同時に「みやぎ東日本大震災津波伝承館」で見た「記憶を紡ぐ」の文言が心に残る。

「869年の貞観地震と大津波、1611年の慶長三陸地震と大津波、その後に起きた災害、有史以来これら過去の災害は記録されてきました。けれども、それが生かされなかったのは、なぜなのか。それは、記録されても記憶（伝承）されてこなかったからです。そのことに深く気づかされたのが東日本大震災でした。自然を前にして人間は無力です。祈る事しか叶わないときもあります。けれども、自然とのかかわりのなかで、先人たちが築きあげた過去に学ぶことの大切さを知ったのも、また東日本大震災でした。――」

宮崎市も過去に津波被害を受けている。南海トラフ地震は近い。いろいろなことを考えさせられた6,000kmのドライブだった。



## あなたできますか？

—令和6年度 医師国家試験問題より—

(解答は28ページ)

1. 思春期の脊柱側弯症の身体診察でみられないのはどれか。
  - a 肋骨隆起
  - b 胸椎の叩打痛
  - c 片側肩甲骨の突出
  - d 肩の高さの左右差
  - e ウエストラインの非対称
2. 女子の思春期で正しいのはどれか。
  - a 初経は排卵性の月経である。
  - b 思春期まで卵胞数は増加する。
  - c 初経前にゴナドトロピンは低下する。
  - d 大量のエストロゲンは骨端線を閉鎖させる。
  - e 二次性徴は陰毛発育、乳房発育、初経の順に進む。
3. 透析導入されていない保存期末期腎不全患者の食事療法で制限が必要ないのはどれか。
  - a リン
  - b 食塩
  - c 蛋白質
  - d カリウム
  - e エネルギー
4. 乳児で緊急処置を要するバイタルサインはどれか。
  - a 体温 ————— 38.0°C
  - b 脈拍 ————— 52/分
  - c 血圧 ————— 76/52mmHg
  - d 呼吸数 ————— 36/分
  - e SpO<sub>2</sub> ————— 96% (room air)
5. 胃から吸収されるのはどれか。
  - a 鉄
  - b 葉酸
  - c 脂肪酸
  - d エタノール
  - e グルコース
6. 妊娠中期に低下するのはどれか。
  - a 白血球数
  - b 一回換気量
  - c 大腿静脈圧
  - d インスリン抵抗性
  - e 血清クレアチニン値
7. 反復使用した場合、身体依存を形成するのはどれか。
  - a LSD
  - b 大麻
  - c コカイン
  - d アンフェタミン類
  - e ベンゾジアゼピン系薬
8. 抗リン脂質抗体症候群の徴候はどれか。2つ選べ。
  - a 脳梗塞
  - b 不育症
  - c 早発閉経
  - d 指尖陥凹性癬痕
  - e 口腔粘膜再発性潰瘍
9. 55歳の男性。息切れを主訴に来院した。2年前から階段を昇る際に息切れを自覚していたが、そのままにしていた。ここ1か月は平地歩行でも息切れを自覚するようになった。喫煙は40本/日を35年。

この患者への説明で正しいのはどれか。

  - a 「加熱式たばこに切り替えてください」
  - b 「禁煙するまで受診しないでください」
  - c 「すぐに入院して禁煙治療を開始します」
  - d 「たばこを1日20本までにしてください」
  - e 「たばこは息切れを起こす病気の原因になります」
10. 54歳の女性。乳がん検診で異常を指摘され来院した。42歳から①高血圧症で、降圧薬を内服中である。喫煙歴はない。飲酒は機会飲酒。②母は乳癌のため58歳で死亡した。③初経は12歳。④出産は2回。⑤BMI 20.3。マンモグラフィでは高濃度腫瘍陰影と集簇した多形性の微細石灰化像を認めた。

下線部のうち、想定される疾患のリスクファクターはどれか。

  - a ①
  - b ②
  - c ③
  - d ④
  - e ⑤

## エコー・リレー

(603回)

(南から北へ北から南へ)

## 7月5日の大災難

宮崎市 おおつか杉田眼科 すぎ た なお ひろ  
杉 田 直 大

ここ数年、南海トラフ巨大地震が怖くて、車中泊仕様のハイエースに避難グッズを常備したり、ベッドの脇に靴を置いて寝たりしている。

1年ほど前に、2025年7月5日未明に大災難が起こるという噂がネット上で話題になっているのを知った。大災難の詳細は不明だが、日本とフィリピンの間で巨大な津波が発生するとの話があるようだ。その日は土曜日なので、クリニックは休診にして金曜日の診療終了後に標高の高いところへ避難しようと思った。何も起こらなければゆっくり温泉にでも浸かって帰ってくればいい。まあ半分は土曜日休診にして旅行に行くための口実みたいなものである。さて、どこに泊まろうか。クリニックの理事長である父に、7月5日は休診にしたい旨を伝えたが、答えはNO。仕方がない、何も起こらないことを願おう。

しかしXデーが近づくとつれ、トカラ列島の地震が頻発し始めた。日本とフィリピンの間といえなくもない。やはり何かが起こるのか。よし、金曜日は都城あたりで車中泊をして、夜が明けて何もなければ戻ってきて土曜の診療にあたるとするか。

いよいよ前日金曜日、22時に長女を塾に迎えに行き、早く風呂に入れと急かす。家を出るのは23時か、それまで2歳の長男が起きていられるかな。

家を出る準備が整ったところ、リビングルームから鈍い音が聞こえ、直後に娘たちと妻の叫び声が響いた。見ると、長男がおでこから血を流してギャン泣きしている。暴れてそこら中に血が飛び散っている。眠いのに寝せてもらえず、ふらついて転倒し框で眉上をぶつけたようだ。大学病院に連れていき、15針縫合したのは7月5日の未明であった。

我が家にとってはまさに大災難であった。

[次回は、宮崎市の金田 和豊先生にお願いします]

## 熊のいる山いない山

日南市 井手胃腸科肛門科 い で ひで ゆき  
井 手 秀 幸

登山は落石、雪崩、滑落など多くのリスクを伴うが、昨今、里に下りる熊が新たなリスクとなり時代の変化を感じざるを得ない。学生時、愛媛大山岳部は北アルプスで合宿していたが、熊

は熊鈴に近寄らない古き良き時代で、幸いに熊に遭遇することはなかった。一方、熊の目撃情報は確かにあり、暗闇と静寂のテントの中、脳裏をよぎる熊とともに眠りに落ちていた。四国に熊はいないと思い込んでいたが、2025年、四国森林管理局は徳島の剣山周囲に数十頭の熊の生息を報告した。愛媛大は石槌連峰が本拠地で時には東側の剣山近くまで行っていたので熊と鉢合わせの可能性もあった。石槌連峰の西端には皿ヶ峰があり登山口が愛媛大医学部のすぐ近くにあった。医学部キャンパスに移って後は単独行が楽しみで、土曜の午後6時頃から皿ヶ峰登山を開始し懐中電灯を頼りに数時間、竜神平の山小屋（9合目）を目指す。鳥がびっくりしてギャーバタバタと飛び立ち肝を冷やす。怖い野生動物には一度も遭遇しなかったが少し無謀な山行だったかもしれない。私は雪山、岩山に執着はなく夏山が好きだ。霧島連峰はどこより美しい自慢の山である。霧島縦走についてきた高校生の長男と韓国岳を下る際、bushに迷い緊迫感漂うも何とか脱出して事なきを得た。以来、長男は山の話をしてない。九州に熊はいないと言われているし、新燃岳に早く落ち着いてもらって縦走を再開したいものだ。

[次回は、都城市の佐藤 新五先生にお願いします]

## メディアの目

初めての入院，初めての断テレビ，  
初めてのオールネット社会

テレビ宮崎 コンテンツプロデュース局長兼報道部長

てら だ けん ごと  
寺 田 健 吾

7月末、胃がズキズキと痛むことが増え、嘔吐と下痢に血が混じるような状況が続きました。とある病院にいったところ「食あたりでは？」と診断されたため2～3日様子を見ていたのですが、さらに症状が悪化。体に力が入らないようになり脱水症状のような状況に…。これはさすがにヤバいかもと思い別の病院にいくと「十二指腸潰瘍」と診断され急遽入院することになりました。血液検査もしたところヘモグロビンが極端に減っていて貧血のような状況になっていたとのことでした。

社会人になって20年間、一度だけインフルエンザで会社を休んだことはありましたが、それ以外では風邪すらほとんどひかず、自分でも健康だな～と思っていたところ、寄る年波には勝てず3日間会社を休んでしまいました。

しかも入院初日はカムチャツカ半島でM8.7の地震が発生し、宮崎県でも津波注意報が出ていた日、病院に横たわりながら東京キー局から届く情報などを、本社に展開していたのを覚えています。ちなみに決して会社から指示されたわけではございません…ゆっくり休む旨言われていたものの、気になって自ら積極的にやっていただけです（笑）

そんな中、人生初めての入院を経験したので

すが、せっくなのでテレビを全く見ないようにしようと決めました（ベッドから見にくいのもあったのですが）。情報は基本スマートフォンからのみの入手でSNSを中心に見ていました。

長年テレビのすぐそばで仕事をしていた自分としては、リアルな動きがつかめない感覚になり、正直世の中から取り残された気分になりました。一方でSNS上を眺めているとさすがの情報量。もちろん自分から検索するニュースもありましたが、ほとんどが私の嗜好・傾向をつかんで流れてくる情報です。そこで気になる投稿・情報を見つけるとまた検索して、さらに気になって…の繰り返し。入院期間中ずっとスマホを見ていたような気がします。

とはいえテレビを全く見ない中で感じたネット社会のリアル。情報量の多さにあらためて感心する一方、情報の取捨選択とフェイクに対する幅広い知識が必要と感じました。テレビもオールメディアと揶揄されるようになった近年、テレビとネットそれぞれの存在意義をあらためて考える有意義な入院時間になりました…。

ちなみにUMKでも今年7月からニュース専用のYouTubeチャンネルを立ち上げました。宮崎のニュースをネットを通じて発信し続けますので、ぜひチャンネル登録お願いいたします！（笑）



## 身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

### 第51回 秘密録音の禁止について

**Q.**

当院の職員で、他の職員と関係がギスギスしている者が、他の職員の会話や院長である私の話を勝手に録音しているとの噂があり、職場の空気がよくありません。そもそも人の会話を勝手に録音するのは違法ではないのですか？ また防止するためにはどうすればよいですか？

まず、一般論として、会話の一方当事者が他方当事者との会話内容を秘密に録音することは違法ではありません。なぜなら、その会話の当事者である以上、その会話内容自体に秘密性がないからです。しかし、医療機関内部における秘密録音は、職員や患者が相手に知らせずに会話や診療の様子を録音する行為であるため、法的に多くの問題があります。なぜなら、医療現場では、守秘義務の漏洩や個人情報保護法違反など、重大なリスクが存在するからです。

たとえば、診療中の会話を職員や患者が無断で録音した場合、録音データには患者の病状や氏名、他職員の発言などが含まれることが多く、個人情報保護法や医師法・看護師法に基づく守秘義務違反となるおそれがあります。また、録音内容をSNSなどで公開した場合には、名誉毀損や信用毀損などの民事・刑事責任を問われる可能性も高いです。さらに、院内での無断録音は職場の信頼関係を損ね、チーム医療の協調を崩す要因にもなり得る以上、院内における無断録音は禁止しておくべき行為といえます。

具体的な対策としては、まず就業規則や勤務規程に「業務中の録音・録画を禁止する」「違反時は懲戒処分の対象とする」と明記し、当該規定をすべての職員に適用させることが重要です。また、入職時には守秘義務および録音・録画禁止の誓約書を提出してもらい、研修や院内掲示などを通じて周知徹底を図ることも重要です。やむを得ず録音が必要な場合（医療安全目的など）は、事前に承認を得る仕組みを設けることが好ましいでしょう。

秘密録音が発覚時には、事実確認を確認したうえで、前記記載の就業規則・職務規定違反を理由とした懲戒処分も検討対象となります。つまり、医療機関としては「録音自体の違法性」よりも「録音による漏洩・公開の危険性」を重視し、患者と職員の信頼を守る体制を整備していくことが重要です。

(回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士  
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂)

**A.**

### <医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール (genko@miyazaki.med.or.jp), FAX, 郵送などでお送りください。  
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。

## 宮崎県感染症発生動向 ～9月～

令和7年9月1日～令和7年9月28日（第36週～第39週）

## ■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核13例（男性5例・女性8例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症5例：都城（3例），宮崎市（2例）保健所管内から報告があった。患者が4例，無症状病原体保有者が1例であった。年齢は0～4歳，30歳代が各2例，5～9歳が1例で，原因菌は【表3】のとおりであった。主な症状として，腹痛，水様性下痢，血便等がみられた。

4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）2例：延岡，高千穂保健所管内から報告があった。年齢は70歳代と80歳代であった。性別は男性1例，女性1例であった。主な症状として発熱，下痢，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少，リンパ節腫脹，刺し口等があった。

○日本紅斑熱1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，性別は男性であった。主な症状として発熱，発疹，肝機能異常があった。

○レジオネラ症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，性別は男性であった。病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，咳嗽，肺炎等がみられた。

5類：○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状としてショック，腎不全，DICがみられた。

○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で，病型はHIV感染症であった。主な症状として頭痛，発熱，倦怠感，肝脾腫，鼠径部リンパ節腫脹がみられた。

○梅毒8例（男性5例・女性3例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表4】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫

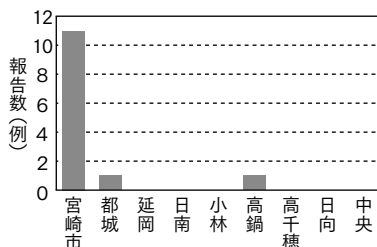


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	5
その他の結核 (結核性リンパ節炎，結核性胸膜炎， 左鼠径部軟部腫瘍，尿路結核)	4
無症状病原体保有者	4

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	1
30歳代	2
40歳代	1
60歳代	1
70歳代	3
80歳代	4
90歳代	1

表3 腸管出血性大腸菌感染症  
原因菌別報告数(例)

原因菌	報告数
O103(VT1)	2
O115(VT1)	1
O157(VT型不明)	1
O血清群不明(VT1,VT2)	1

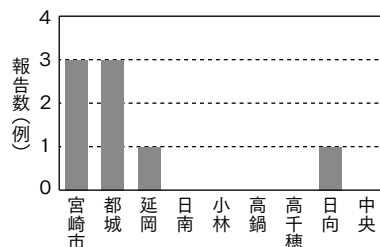


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表4 梅毒 病型別報告数(例)

早期顕症梅毒Ⅰ期	1
早期顕症梅毒Ⅱ期	4
晩期顕症梅毒	1
無症状病原体保有者	2

表5 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	4
30歳代	4

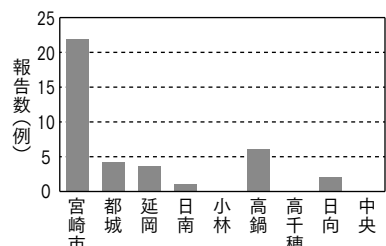


図3 百日咳 保健所別報告数(例)

表6 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	1
5～9歳	6
10歳代	16
20歳代	3
30歳代	2
40歳代	2
50歳代	2
60歳代	1
70歳代	4
80歳代	1

脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，眼症状がみられた。

○破傷風1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として筋肉のこわばり，開口障害，嚥下障害，発語障害がみられた。

○百日咳38例：保健所別報告数は【図3】，年齢別報告数は【表6】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，スタッカート，ウーブ，嘔吐，無呼吸発作，白血球数増多，肺炎等がみられた。ワクチン接種歴は有りが13例，不明が24例，無しが1例であった。

## ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は2,790人（定点あたり142.9）で，前月の104%，例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の93%であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は5,654人（定点あたり201.9）で，前月の約100%であった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ，RSウイルス感染症，伝染性紅斑及び流行性結膜炎で，減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はインフルエンザ，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎，伝染性紅斑及びマイコプラズマ肺炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は1,628人（58.1）で前月の約0.9倍であった。延岡（103.7），日向（72.5），高鍋（70.0）保健所からの報告が多く，20歳未満が全体の約半数を占めた。

伝染性紅斑の報告数は193人（12.9）で前月の約1.6倍，例年の約7.6倍であった。中央（18.0），延岡（17.0），宮崎市（16.4）保健所からの報告が多く，3歳から7歳が全体の約7割を占めた。

前月との比較

	2025年9月		2025年8月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	42	1.5	9	0.3	★
新型コロナウイルス※1	1,628	58.1	1,898	67.8	
RSウイルス感染症	141	9.4	72	4.8	
咽頭結膜熱	41	2.7	28	1.9	
溶レン菌咽頭炎※2	149	9.9	143	9.5	★
感染性胃腸炎	417	27.8	335	22.3	
水痘	16	1.1	19	1.3	
手足口病	1	0.1	7	0.5	
伝染性紅斑	193	12.9	122	8.1	★
突発性発しん	36	2.4	40	2.7	
ヘルパンギーナ	35	2.3	96	6.4	
流行性耳下腺炎	2	0.1	4	0.3	
急性出血性結膜炎	0	0.0	2	0.3	
流行性角結膜炎	75	12.5	51	8.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	13	1.9	16	2.3	★
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	
急性呼吸器感染症	5,654	201.9	5,670	202.5	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## ■病原体検出情報（微生物部）

### ★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

検出病原体			検出数
インフルエンザ ウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			21
RSウイルス	A型		1
	B型		1
パラインフルエンザ ウイルス	1型		0
	2型		3
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			4
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			1
新型コロナウイルス・アデノウイルス			1
検出せず※2			17
受付検体数			49

○急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について，急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い，検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽，咽頭痛，呼吸困難，鼻汁，鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し，発症から10日以内の急性的な症状であり，かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

	検出病原体	件
細菌	<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	2
	<i>Salmonella</i> Stanley (O4:d:1,2)	1
	<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	1
	<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	1
	EPEC (OUT:HNM)	1
	<i>Salmonella</i> Oranienburg (O7:m,t:-)	1
	EPEC (OUT:HUT)	1
	EPEC (OUT:H6)	1
	<i>Salmonella</i> Haifa (O4:z10:1,2)	1
	EPEC (O143:H18)	1
	EHEC (O103:H2 VT1)	2

	検出病原体	件
ウイルス	Human parecho virus A5	1
	Norovirus GII.17 [P17]	1
	Adeno virus B3	1
	Rhino virus A	2

## ■月報告対象疾患の発生動向〈2025年9月〉

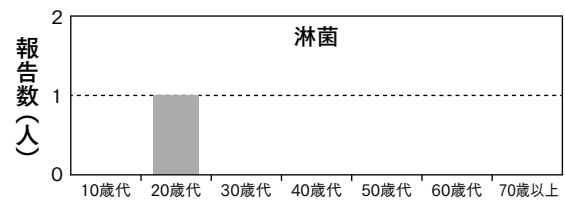
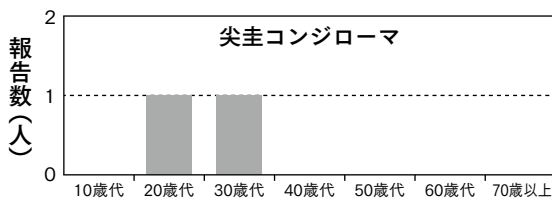
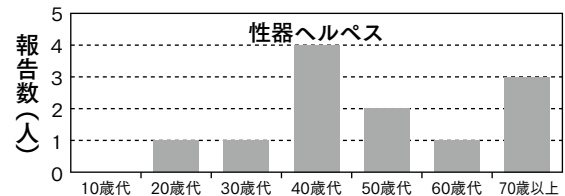
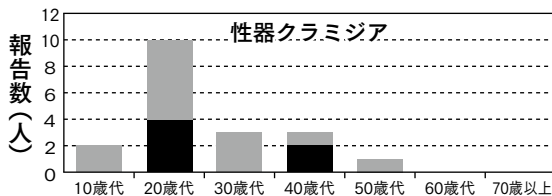
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人（2.6）で、前月比77%と減少した。また、昨年9月（4.2）の約0.6倍であった。

#### 《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数19人（1.5）で、前月の約0.7倍、昨年9月の約0.5倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。（男性6人・女性13人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数12人（0.92）で、前月及び昨年9月の約1.1倍であった。（女性12人）
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月の約0.7倍、昨年9月と同率であった。（女性2人）
- 淋菌感染症：報告数1人（0.08）で、前月の約0.3倍、昨年9月の約0.1倍であった。（女性1人）



■男 ■女

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人（3.0）で、前月比175%と増加した。また、昨年9月（4.7）の約0.6倍であった。

#### 《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数21人（3.0）で、前月の約1.8倍、昨年9月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

## 日赤だより

## 【日本赤十字社宮崎県支部】

## 「活動資金」へのご協力をお願い

日本赤十字社は、災害時に救護班を編成し医療救護活動を行うなど、医師会の皆様の近くで活動しています。各地への義援金・救済金その他、赤十字の幅広い活動を支える「活動資金」へのご協力をお願いいたします。

ご寄付については  
こちらから ⇒



# 赤十字は、 動いてる！

赤十字は、最前線に立つ人、それを背後で支える人、そして何よりも、  
活動を寄付で支援して下さる人、関わるすべてのみなさん一人ひとりと動き続けています。  
人間のいのちと健康、尊厳が守られる世界を信じて。これまでも。これからも、ずっと。

 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

一緒に、救える。TEAM  
SAVE365



日本赤十字社宮崎県支部 総務課

TEL：0985-22-4045 メール：miyazaki-info@miyazaki.jrc.or.jp

## 各郡市医師会だより

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

2024～25年の年末年始は8連休となり、インフルエンザの流行期と重なったこともあり在宅当番に患者が殺到しました。内科、小児科、耳鼻咽喉科は患者があふれ、駐車場に入りきれなかった待ち車は一般道に列をつくり近隣の住民から苦情の電話が絶えなかったようです。日が変わっても診療が終わらなかった内科が連休中に2医療機関あり、1件は朝4時まで診療を行いました。処方薬も底をつき、その日に開く他医院の調剤薬局で処方してもらうよう患者さんをお願いしたようでした。小児科はともかく内科、耳鼻科でこれほど患者があふれることは今までになかったことだと思われます。患者さんからの苦情ばかりでなく、近隣住民からの苦情電話に対応しながらの診療は想像を絶するものだったと思われます。

2025～26年の年末年始も8連休となります。同じ事態を想定し、休日在宅当番医制度は宮崎市の委託事業であるため、宮崎市郡医師会は宮崎市と協議を行い、その中で発熱外来を行う医療機関の評価や医療機関の負担を軽減するための方策などをお願いしました。医師会内でも在宅当番医体制検討会を立ち上げ、想定される事案について検討を始めました。また、発熱外来を行っている在宅当番の待ち時間が分かるようなアプリを開発し、医療機関にかかる負担についてなどの実証試験を始めました。これらの事が功を奏し、この年末年始は同じような事態が起こらないことを祈るばかりです。

(高村 一志)

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

こども家庭庁の事業の一つである『こどもまんなか会議・都城市』に出席しています。今夏より令和時代に合わせた『こどもの遊び場について』の議論が始まりました。話題の中心は全天候型・新施設の開設なのですが、これは見栄えも良くて市民の反響も大きい、と考えます。しかし、既存の遊び場の一つである地域密着型の野外公園は、歴史を重ねて大きく育った樹木や雑草の管理、トイレや遊具の老朽化、安全防犯対策、など課題が山積みです。こどもたちのためにしっかり意見を伝えていきたいです。

(畠中 道己)

### 延 岡 市 医 師 会

令和7年7月18日に延岡市学校保健大会が開催されました。医師会発表として、尾崎眼科石井紗綾先生が近視について講演され、遺伝や環境の影響も大きいので、小児期からの近視抑制に積極的に取り組むことが重要とのことでした。特別講演は、腰塚勇人氏の『命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～』でした。スキーで頸椎骨折し全身麻痺になった元中学教師の演者が、周りの支えにより希望を取り戻し社会復帰した経験から、「あなたは決して一人じゃない。助けてくれる人、力になってくれる人が必ずいる」ということを話されました。

(大重 明広)

## 日向市東臼杵郡医師会

9月17日、日向市にて延岡市医師会との合同理事会を開催しました。延岡市医師会の先生方には日向市までお越しいただき、県北地域の救急医療体制について話し合いを行いました。特に、消化管出血の輪番制や脳血管疾患への対応に関して意見交換を行い、地域医療の課題解決に向けた具体的な方向性を共有しました。今回の会議を通じて互いに顔の見える関係を築くことができ、今後も両医師会が協力して取り組んでいくことを確認しました。地域医療のさらなる充実に向けた大変有意義な会となりました。

(伊藤 康司)

## 児 湯 医 師 会

令和6年6月まで児湯医師会長を務められた永友和之先生が8月26日に亡くなりました。令和7年5月にご子息の英之先生に永友クリニックを継承されましたが、闘病中も在宅医を引き受けられ、周囲への気配りに頭が下がります。別件で、認知症やフレイル予防に補聴器が有用で、身障者に該当せずともある程度の難聴があれば耳鼻科医による意見書で購入補助金が交付される制度が広がっています。児湯郡では新富町だけでしたが木城町にも導入される見込みです。高鍋町は未定です、これも残念なことです。

(鳥原 康治)

## 西都市西児湯医師会

令和7年8月末～9月まで、COVID-19感染の患者数が多く心配しましたが、徐々に減少してきており安心しました。10月からのコロナワクチンについては、国からの補助がなくなり有料となったことから、接種患者が少なくなるのではないかと心配しています。また、西都市で

は閉院される開業医が出てきており、来年度の医療体制について医師会と西都市との協議を行い、西都市民に安心して医療を受けてもらえるよう、みんなでしっかりと話し合いをし、協力していきたいと思います。

(上野 尚美)

## 南 那 珂 医 師 会

9月17日に南那珂医師会と県立日南病院の医師交流会が日南市内で開催されました。地域医療支援病院であり、かつ毎年多くの医師が入れ替わる県立日南病院にとって、医師会の先生方との顔の見える関係構築はとても大切です。今回は昨年を上回る45名の参加があり、会場では交流の輪が広がっていました。医師会会員同士の交流機会もコロナ後は少なくなっている状況もあるとのことで、人と人が直接会って、美味しい料理とお酒を楽しみながら談笑することの重要性をあらためて認識した一夜となりました。

(木佐貫 篤)

## 西 諸 医 師 会

学校健診で西諸の中学校を訪問時隣接する運動公園にドクターヘリが駐機していました。ただ稼働中ではなく整備修理中の様子。中学校の先生のお話では、前日に離着陸場の運動公園に救急車が到着。ドクターヘリも飛来し患者様を収容し離陸した後、再び着陸し患者様は救急車に戻り搬送され、ヘリはそのまま駐機とのこと。患者様の御容態が心配されますが、長崎のヘリ事故もあり、宮大まで15分の利点はあっても安全運航が第一ですので、ヘリのクルーの皆様も苦渋の決断と推察され、難しい問題と感じました。

(井尻 裕司)

## 国公立病院だより

### 都農町国民健康保険病院



よしむら まなぶ  
吉村 学院長

#### はじめに

令和7年3月で大学勤務を退職して、4月より10代目院長として着任しました。平成27年5月より宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座教授（宮崎県寄附講座）として母校に戻り、卒前医学教育や地域医療実習、地域包括ケア実習、長期滞在型地域医療実習の導入などに尽力いたしました。また診療面では宮崎市立田野病院での勤務をしながら地域医療実習も合わせて行いました。10年間に渡り活動して来ましたが、この場を借りて関係者の皆様にお礼を申し上げます。

#### 19番目の専門医

当院の大きな特色のひとつが総合診療医の養成であります。2015年に養成プログラムを立ち上げて、県南地域を中心に養成を行い、2018年から日本専門医機構に正式に認証された「総合診療医」養成をALL MIYAZAKI総合診療プログラムとして運営し、当病院も研修施設の一つとして位置付けられています。2020年4月より正式に総合診療科を三人体制で開始しました。人口1万人、高齢化約40%の町内で唯一の入院施設として外来、入院、救急、そして訪問診療も提供しています。

#### ふるさと納税と町寄附講座

2020年4月から都農町寄附講座を医学部と地域資源創成学部に設置しました。医学部の方は、地域包括ケア・総合診療医学講座として当院に設置して、診療および教育、研究をしながら町に貢献する形として活動開始しました。特に医学部5-6年生を対象として12週間の長期滞在型地域医療実習を毎年3名選抜して都農町

内に宿を提供して、教育しています。本年度から地域包括ケア学講座と改称しました。5年間を経て初めて実習修了生が総合診療専攻医として当院に半年間勤務する形で戻って来ました。職員一同大変喜んでいきます。前町長が言っていた「究極の返礼品としての医師」が実現する形になったのも嬉しいことです。

#### 現在の陣容

総合診療科6名（1名専攻医）、小児科（アレルギー科含む）1名、整形外科1名、眼科1名の常勤医体制です。あわせて大学放射線科および小児科の支援をいただいております。大変助かっております。宿直業務は主に総合診療科を中心に組み立てておりますが、他診療科の先生方にもご協力をいただいております。また在宅医療を提供していることから、在宅医療のオンコール当番もあるため、常勤医師には負担を強いていることは心苦しい限りです。働き方改革の一環で、宿直明けは午後から休みとしています。

#### 地域包括ケアを目指すコミュニティ・ホスピタル

今年で創立75周年を迎え、地域のニーズに応える国保病院として大きな役割を果たして来ました。感染症病床（4床）も陰圧室を完備しています。令和2年4月に総合診療科を設置した、その夏にCOVID-19のパンデミックが起きて、職員一丸となってなんとか感染症に対応して来ました。一方で人口減少、高齢化、町内医療機関の縮小などもあり、高齢者で認知症や心不全など複数の疾患を持ちながら肺炎や尿路感染症、敗血症などを持つ患者が多く、入院診療ニーズが高くその対応にも追われているのが現状です。隣接する都農町健康管理センターとも連携をとりながら、各種予防接種普及や健診活動にも取り組んでいます。

当院のような小規模病院が果たす役割について、コミュニティ・ホスピタルとして外来・入院・救急・在宅医療をワンストップとして提供するモデルが近年注目されています。この団体のホームページに当院も登録して積極的に学びを得ています。その取組みは緒についたばかりですが、ぜひご注目ください。また在宅医療専門医の桐ヶ谷医師を中心として、児湯郡



の医療介護連携室も担当しています。Medical Communication System (MCS) もようやく児湯郡に導入されることになり、これからの連携が楽しみです。診療エリアは日向市南部から木城町、高鍋町、川南町まで広くカバーしています。がんや神経難病、障がい者、医療的ケア児にも対応しています。令和6年秋のデータでは県内で最も自宅看取り率が高い市町村となりました。こうした成果についても積極的に住民の皆さんに発信するようにしています。寄付講座の活動の一環として、地域の皆様からの依頼に応じて地区公民館での健康講座を今年度も力を入れて提供しております。

### 各種委員会活動

従来より各種委員会活動（医療安全・栄養・薬事・感染対策・衛生・褥瘡・医事・広報委員会など）が盛んであり、平日午後の時間帯で活発な意見交換を行なっています。一人ひとりの職員が自分の担当する委員会で報告、議論する姿は非常に頼もしく感じております。

### 厳しい経営環境

当院を取り巻く経営環境は厳しいものがあります。総合診療科新設による入院患者の右肩上がりの増加、救急診療とそこから入院増加で収益は増え、コロナ禍では感染症対策補助金もあり経営的には改善しました。しかしコロナ禍以降は入院患者数そのものは目標値に近いも

の、人件費や経費の増加で収益はマイナスになっているのが現状です。医療コンサルタントにも入ってもらって、月間目標値を設定して職員一丸となって努力しています。

### つのまるケアミーティング

月一回第3木曜の夕方6時から1時間、町内外の保健医療福祉介護および行政の担当者と定期的な勉強会「つのまるケアミーティング」を開催しています。運営委員を募り、話し合いをしながら新興感染症や認知症、人生会議、多職種連携、災害対応などテーマを決めてやっています。毎回20－30名ほど参加しています。昨年冬からは高鍋高校にも呼びかけて、医療系に興味がある生徒を中心に参加してもらっています。現職の大人と高校生が地域課題と一緒に楽しく取り組む姿が見られて、お互いとても刺激になっています。そして特筆すべきことは、現町長がほぼ毎回フルに参加されて熱いご意見をいただいております。この勉強会の効果として、高齢者施設が徐々に施設看取りを行うようになって、確実に施設看取りが増えて来ました。お互い顔の見える関係になって来たことや、施設職員の皆様の努力と不安感の払拭につながっているのかもしれない。持続可能な地域包括ケアシステムとなるためにもそれぞれの業務実践のみならず、次世代の人材育成を同時に行なっていく必要性を痛感しております。



## 宮崎大学医学部だより

### 宮崎大学附属図書館医学分館



かつらぎ しんじ  
桂木 真司 分館長

#### 1 はじめに

発達泌尿生殖医学講座所属の桂木真司です。2024年4月から附属図書館の医学分館長をしております。

#### 2 医学分館概要

宮崎大学附属図書館医学分館は清武キャンパスの東側にある2階建ての建物です。医学科生が学ぶ講義実習棟や看護学科生の総合教育研究棟、食堂や売店のある福利施設に隣接し、学生生活空間と学びの中心に位置しています。2020年1月に改修を終えてリニューアルオープンした建物は明るく快適で、学生の自学自習を支える拠点となっています。

医学分館の蔵書は医学・看護学系の図書を中心に約13万冊、医学雑誌のバックナンバーは4千タイトル以上を保存しています。電子リソースも充実しており、電子ジャーナルは3万タイトル以上、電子ブックは4千タイトルが利用可能です。論文検索データベースは医中誌Web、メディカルオンライン、CINAHLを導入しています。

#### 3 医学分館からの情報発信

情報資源を有効に活用できるよう、定期的にオリエンテーションや情報検索ガイダンスを実施しています。また、月1回テーマに沿った資料展示を行うほか調べもの支援としてパスファインダーを作成・公開しています。

次のパスファインダーは2025年3月に公開した「発達泌尿生殖医学講座」です。

<https://libguides.lib.miyazaki-u.ac.jp/pathfinder/Gynecology>

#### 4 2024年8月地震とその対策

2024年8月8日16時43分に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。医学分館でも震度5強の揺れにより製本雑

誌を保存している閉架書庫の棚から2千～3千冊ほどの資料落下があり片づけに追われました（幸い、開架の書架では本の落下は数冊程度で人的被害はありませんでした）。その後、閉架書架の棚には最下段を除いたすべての棚に落下抑制テープを貼り対策を行いました。

#### 5 ポストコロナの地域開放

2025年4月から学外者の利用制限を解除しました。9月から日曜開館も再開しました。

	平日	土曜日曜	祝休日
授業期	9～20時	13～17時	休館
休業期	9～17時	休館	休館

図書の貸し出しを希望する方は利用者カードを作成します。身分証明書をお持ちください。利用者カードは本館・医学分館共通です。事前のご連絡で、医学分館の図書を本館に取り寄せて閲覧・貸出できます（逆も可）。返却はどちらの図書館でも受け付けます。

利用の詳細は下記までお問い合わせください。

#### 6 医学分館の使命

医学分館は医学・看護学に携わる人々の学びと研究を支える基盤です。震災対策や地域開放にも取り組み、安心できる学習環境を提供することが使命です。今後も「医学部の図書館としてできることはすべて行う」という決意のもと、教育・研究・診療を支える図書館運営を進めてまいります。

E-mail: lib-med@of.miyazaki-u.ac.jp

Tel: 0985-85-9198/Fax: 0985-84-1756

図書館ガイド  
医学分館2025



## 専 門 分 科 医 会 だ ょ り

## (内科医会)



ひが としのぶ  
比嘉 利信 会長

宮崎県内科医会の歴史は長く、昭和37年に発足し現在73年を迎えております。本会の目指すところは、内科医師としてあるべき姿の追求、日々進歩する医学知識の研鑽、さらには会員相互の親睦であり、内科医の

みならず内科を標榜する医師のために活動しています。

本会が発刊している宮崎県内科医会誌は、昨年記念すべき第100号を発刊いたしました。本会誌は講演会情報、学術情報、診療ガイドラインの更新、地域医療施策などをタイムリーに提供しております。第100号誌では、記念記事として歴代会長に思い出を披露していただき、編集委員からのひとことも掲載しております。読み応えのある内容となっておりますのでぜひご覧いただけると幸いです。

本会の全国組織として日本臨床内科医会（日臨内）があります。日臨内では医療・介護保険に関する診療報酬の問題点を明らかにし、内保連や中医協に提言することにより診療報酬改定につながるように働きかけています。日臨内や各県内科医会は診療に役立つ新しい情報をいち早く会員へ周知し地方で活躍する医師にも非常に有用な組織であります。日臨内は「かかりつけ医のためのWeb講座」を毎月開催し、会員のみならず会員外の先生方も無料で聴講可能です。会員には専門領域以外の知識を補充する機会となり、かかりつけ医としてのスキルをより高めていただけます。

しかしながら日臨内の会員数は年々減少傾向であり会員増強が重要な課題となっています。

その中で、宮崎県は対2017年比較で95.6%と九州各県では福岡県（同97.4%）に次いで2番目に低い減少率です。しかし県内全内科診療所数570軒のうち日臨内入会率は47.5%に留まっています。令和7年10月3日現在の会員数は396名で、このうち日臨内会員数は277名（69.9%）となっています。宮崎県の内科診療における問題点を中央に届けるためには本会会員数が十分に存在することが重要です。現在会員外の先生方にも日臨内のよさを知っていただき、入会していただけるように努力していく所存です。

会員数の減少に伴う経費削減策としまして、これまで年2回発刊していた宮崎県内科医会誌を年に1回としました。また会員増強策としてホームページを刷新しております。新ホームページでは、会員の先生方にできるだけ新しい情報を随時お届けし、学術講演会や学会への参加を簡単に申し込めるシステムを構築しました。「宮崎県内科医会誌（54号～）」のバックナンバーをWeb上で閲覧可能です。また本会の活動内容をはじめ、県医師会、日本内科学会、日臨内などのリンクを掲載し、それぞれの情報を素早く入手、確認できます。県内科医会が共催する学術講演会への参加申し込みもPC端末から直接予約可能です。また会員間での情報収集のために会員メーリングリスト作成を開始しました。現在登録者数129人（登録率：約32.5%）と少ない状況ですが、今後多くの参加を目指します。リニューアルした県内科医会のホームページをぜひご覧いただきたいと思います。今後コンテンツの充実に努め本会の発展に取り組んでまいり所存です。先生方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

（常任理事 玉置 昇）

## － 各種委員会 －

### 医学会誌編集委員会

と き 令和7年9月1日(月)

ところ 県医師会館, Web (Zoom)

嶋本常任理事の司会により開会, 小牧副会長の挨拶の後, 甲斐委員長の進行で協議が行われた。

第49巻第2号に掲載予定の論文についてカテゴリーの検討が行われ, あわせて症例報告に関する学術的な定義および症例数の確認も行われた。投稿された14編のうち, 12編の論文を収載することが決定し, 残る2編については継続して協議することとなった。収載が決定した12編の内訳は, 「総説」2編, 「症例報告」7編, 「診療」1編, 「論説」1編, 「クリニカルカンファレンス」1編であった。また, 編集後記の担当者もこの場で決定された。

次に, 第50巻第1号の総説についての検討が行われた。3名の候補者が挙げられ, 後日, 執筆依頼を行い, ご快諾いただいた方に執筆を依頼することとなった。その結果, 宮崎大学医学部社会医学講座データマネジメント分野の中井陸運教授に決定した。



この他, 投稿規程の内容に関する協議や, 臨床研究倫理審査事業の周知についても話し合いが行われた。

#### 出席者

県医師会館－甲斐委員長, 松尾副委員長,  
中谷・黒木・黒岩・福留・  
武田・山下・濱川委員

Web (Zoom)－中馬・菊池・峰松・細川委員  
(県医)－小牧副会長, 嶋本・市来常任理事,  
田畑理事, 久永次長, 松崎主事

-----  
あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b	d	e	b	d	e	e	a, b	e	b

日本医師会会員 / 会員が開設・管理する医療機関の医療従事者 /  
会員が開設・管理する介護サービス施設・事業所の従業員の皆様へ

# 日医ペイハラ・ ネット相談窓口 を開設しました!

ご相談は  
こちらから!



## 日本医師会ペイシェントハラスメント・ネット上の悪質な書き込み相談窓口

昨今、インターネット上(Google Map等の口コミやSNS等)で悪質な書き込み被害が増加しており、対応に苦慮している先生方や医療機関も多くあることと存じます。2024年10月に会員向けに実施したアンケート調査では、総回答数4,730のうち、Google Mapやその他の医療機関検索サイト、SNS等でご自身の医療機関に対する誹謗中傷等の書き込みをされた医療機関が約8割という結果でした。このような状況を踏まえ、SNS等の誹謗中傷に関する書き込みをはじめ、医療機関内でのペイシェントハラスメント全般に関する相談窓口を創設いたしました。

相談料無料・  
回数制限なし

このような場合にご相談いただけます!



### 事例1

医療上の指示・指導などの受け入れを拒否され、怒鳴られるなど暴言を受けた。



### 事例2

インターネットやSNSで誹謗中傷・脅迫をされた。

お気軽にご相談ください!

### 制度対象者

日本医師会会員 / 会員が開設・管理する医療機関の医療従事者 /  
会員が開設・管理する介護サービス施設・事業所の従業員

### 相談内容

インターネット上での悪質な書き込みを含むペイシェントハラスメント全般

### 相談受付方法

WEBフォーム・電話

- ご相談に際しては会員確認をさせていただきます。会員本人以外からのご相談の場合(会員が開設・管理している医療機関の医療従事者等の場合)は、勤務先の医療機関の開設者または管理者が会員であることを事前にご確認いただくようお願いいたします。
- 無料で回数制限等なくご相談いただけます。

WEB  
フォーム

<https://forms.gle/GgKkT837gCyfiVgL6>

※受付の当日または翌営業日以降に相談窓口より電話またはメールにてご連絡いたします。  
お問い合わせの対応状況により、数日お時間を頂戴する可能性があります。



電話

**0120-830-870**

電話受付時間:平日9時~18時

※ネット上の誹謗中傷等の書き込みの場合は、該当箇所を確認するため、WEBフォームにて関連のURL等をご記載ください。

— このご案内は概要の説明となります。詳しい内容については下記をご確認ください。 —

〈日医ペイハラ・ネット相談窓口の詳細について〉

日本医師会ホームページおよびメンバーズルーム  
をご覧ください。

[https://www.med.or.jp/doctor/sonota/sonota\\_etc/011988.html](https://www.med.or.jp/doctor/sonota/sonota_etc/011988.html)



〈日医ペイハラ・ネット相談窓口全般に関するお問い合わせ先〉

日本医師会情報システム課

TEL: 03-3942-6135

FAX: 03-3946-6295

MAIL: [josys@po.med.or.jp](mailto:josys@po.med.or.jp)

## 九州医師会連合会第425回常任委員会

と き 令和7年9月27日(土)

ところ グランドハイアット福岡

### 1 開 会

### 2 九州医師会連合会長挨拶（福岡県蓮澤会長）

### 3 報 告

#### 1) 日本医師会副会長・理事補欠選挙における各ブロックからの推薦について（福岡）

九医連が推薦した福田稠日医副会長候補に対し、関東甲信越医師会連合会および近畿医師会連合より推薦状をいただいた。また9月13日に立候補が締め切れ、副会長と理事候補者いずれも定数となった旨の報告が行われた。

### 4 協 議

#### 1) 第426回常任委員会並びに第130回臨時委員総会（11月28日(金)福岡市）の開催について（福岡）

第125回九州医師会総会・医学会の前日に開催される会議で、来賓や協議内容を含む日程などの説明が行われ、原案どおり承認された。

#### 2) 九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会（11月29日(土)福岡市）における日本医師会に対する質問・要望事項について（福岡）

日医松本会長にお願いする中央情勢報告で、九州各県に照会の結果、①物価高騰等に対する補助金の執行について（鹿児島県）、②国民皆保険制度を守るために（長崎県）、③消費税について（熊本

県）、④医業承継の税制上の課題が地域医療の存続に及ぼす影響について（福岡県）、⑤令和8年度診療報酬改定における病院と診療所の均衡をめぐる課題について、⑥医療事故調査制度発足10年を踏まえて、日本医師会の立ち位置と各都道府県医師会の現況について（福岡県）の6題を提出することが承認された。

#### 3) 第125回九州医師会連合会総会における宣言・決議（案）について（福岡）

事前に照会を行い九州各県の意見を反映した宣言・決議（案）の説明が行われ、原案どおり承認された。

なお、この宣言・決議（案）は11月28日開催の常任委員会、臨時委員総会で再検討され、11月29日の総会に上程される予定。

#### 4) 第427回常任委員会、第2回勤務医連絡協議会並びに第2回（各種）連絡協議会（令和8年2月14日(土)福岡市）の開催について（福岡）

第2回の連絡協議会の会場および開催時刻などの説明が行われた。

開催方法やテーマなどの調整については、本日の第1回連絡協議会の内容などをふまえ、九州各県に意見を求めたうえで、担当県に一任することが承認された。

### 5) 令和7年8月大雨による災害への見舞金について（福岡）

8月7日から11日にかけて九州各地を襲った線状降水帯を中心とする被害状況の説明が行われ、「九医連災害見舞に関する申し合わせ」に基づき、熊本県に70万円、鹿児島県に20万円、福岡県に10万円の災害見舞金を送ることが承認された。

### 6) 「国民医療を守るための総決起大会」における発言者の推薦について（福岡）

11月20日(休)に日医会館で開催される総決起大会について、日医から決意表明の際に九州ブロックを代表する発言者の選定依頼があった旨の説明が行われ、九医連会長の福岡県蓮澤会長にお願いすることが承認された。

### 5 その他

### 6 閉 会

出席者－河野会長、竹崎事務局長

## 10月のベストセラー（宮崎県）

集計：2025年10月1日～10月23日

1 志記（1）	高 田 郁	ハ ル キ 文 庫
2 国宝（上・下）	吉 田 修 一	朝 日 文 庫
3 すべての恋が終わるとしても	冬 野 夜 空	ス タ ー ツ 出 版
4 クスノキの番人	東 野 圭 吾	実業之日本社文庫
5 こうやって頭のなかを言語化する。	荒 木 俊 哉	P H P 研 究 所
6 あやかしたち	畠 中 恵	新 潮 社
7 見るだけでわかる!! 英語ピクト図鑑	マ ー ク	プレジデント社
8 生きる言葉	俵 万 智	新 潮 新 書
9 ザ・ロイヤルファミリー	早 見 和 真	新 潮 文 庫
10 大人も知らないみのまわりの謎大全	ネ ル ノ ダ イ ス キ	ダイヤモンド社

## 日医インターネットニュースから

### ■診療所の厳しい経営状況に理解を — 日医が動画配信 —

日医は、診療所の厳しい経営状況への理解を広げるため、ショート動画「にちいくんと考えよう！日本の医療①」を動画共有サイト・ユーチューブの日医公式チャンネルで配信開始した。「病院の経営状況は厳しいらしいけど、診療所はもうかっているんだよね？」といったネット上などにおける一部の声に対し、誤解だと説明。日医が公表した「診療所の緊急経営調査」で、2024年度にかけて利益率が大幅に悪化したことや、医療法人の約4割が赤字に陥ったことなどを報告している。

全ての診療科で減収減益となり、「近いうちに廃業を考えている」と回答した診療所が14%に上ることを説明。松本吉郎会長の「このままでは、診療所が事業を断念し、病院と共に担っている地域の患者さんへの医療提供を継続できなくなる」との訴えを紹介した。

その上で、26年度診療報酬改定の大幅アップと、補助金・期中改定による緊急措置の必要性を訴えている。

(令和7年10月7日)

### ■医療機関の窮状「共有できている」 — 松本会長、高市首相に期待 —

松本吉郎会長は10月22日の定例会見で、医療機関の窮状や物価高対策の必要性に関する高市早苗首相の一連の発言に言及し、「現状の認識・危機感などを共有できていることがはっきりと分かり、たいへん心強い思いでいる」と期待感を示した。速やかな財政支援などの実施に向け、高市首相はじめ関係閣僚との連携を深めていく考えを示した。

高市氏が21日の首相就任後の会見で、医療機関や介護施設への物価高対策について「報酬改定の時期を待たずに、経営の改善、働いている方々の処遇改善につながる補助金を前倒しで措置する」と表明したことなどを紹介。「日医がこれまで、再三にわたりお願いしてきた要望と合致する考え方」と述べ、「たいへん心強い思いでいる」との認識を示した。

自民党総裁選で、高市氏の推薦人として、安藤高夫・前厚生労働大臣政務官、仁木博文・前厚労副大臣、今枝宗一郎氏、松本尚氏の医師国会議員4人が名を連ねたことにも触れ、「そういった背景からも、医療に対するご理解が深いことが推察される」との考えを示した。

新内閣の関係閣僚にも言及。衆院厚労委員会の与党筆頭理事などを務めた上野賢一郎厚労相については、「社会保障への理解は非常に深い方」と評価。全世代型社会保障改革や賃上げ環境整備を担う城内実担当相に対しては、「公定価格で運営している医療機関などにおいて、賃上げが可能となる環境を整えることは不可欠」と述べ、実現に向けた行動力に期待を寄せた。医師の松本尚デジタル相は「頻繁に意見交換をさせていただいている。日医の考え方は、十分にご理解いただいている」との認識を示した。

#### ●自民・維新の合意書「非常に厳しい」

一方、自民党と日本維新の会が交わした連立政権合意書に対しては、「非常に厳しい項目が並んでいる」と指摘。OTC類似薬を含む薬剤の自己負担の見直しに関しては、「社会的弱者や低所得者、子育て世代にとって、薬剤の自己負担がもし増えることになれば、非常に大きな打撃となる」と述べ、OTC類似薬の保険適用除外には反対だとの考えを改めて示した。医療費窓口負担に関する年齢によらない真に公平な応能負担の実現については「その中身による」



と述べた。

合意内容の具体的な検討スケジュールについて、「タイトなものになるかもしれない」と言及。日医として時期を逸することのないよう、適切なタイミングで意見を主張していく考えを示した。

(令和7年10月24日)

## ■経常赤字の病院62.2%, 公立では9割超 — 24年度, 日医が緊急調査 —

日医は10月22日の会見で、今年6～7月に実施した病院の緊急経営調査の結果を発表した。2024年度の経常収支が赤字だった病院の割合は全体で62.2%に達し、特に公立病院では90.9%、国立病院では85.0%に上った。

会見で調査結果を説明した城守国斗常任理事は、既に公表済みの診療所の経営状況に関する調査も踏まえ、「このままでは多くの病院・診療所は立ちゆかなくなり、地域医療の崩壊につながる」と懸念し、医療機関の経営安定化を国に強く求めていく姿勢を示した。

病院に関する緊急調査は、日医A1会員の病院管理者4826人を対象に、23年度と24年度の病院の収支状況を尋ねた。1211人分を有効回答として集計した(有効回答率25.1%)。

23年度の経常収支赤字病院割合は全体で48.8%だったが、24年度は13.4ポイント拡大した。他の開設主体別の24年度赤字病院の割合は以下の通り。▽公的病院=68.4%(前年度比8.8ポイント増)▽医療法人=56.4%(13.1ポイント増)▽その他=74.0%(13.0ポイント増)―。

24年度の経常利益率はマイナス2.6%で、前年度より2.0ポイント悪化した。経常収支悪化の要因について、城守氏は「新型コロナ関連の補助金の影響が大きい」との見方を示した。

24年度の医業収益は前年度比2.6%増だったが、医業費用の伸びはそれを上回る2.8%増だった。医業費用を費目別に見ると、給与費や材料費の伸びが大きく、物価や人件費の高騰が経営を圧迫する要因となっていた。

医療人材確保のため人材紹介会社に支払う手数料は、24年度は100床当たり706.6万円で、前年度より7.9%増えた。医療法人立の病院では、100床当たりの支払額は843.5万円に上った。

●城守氏「これまでの改定率では厳しい」

病院の経営状況の悪化を踏まえ、病院団体は26年度診療報酬改定で10%超の大幅なプラス改定の必要性を訴えている。城守氏は日医として、26年度改定で求める具体的な改定率への言及は避けたが、「病院団体が主張する通り、これまでの改定率では厳しいという認識だ。適切な手当てをしていただきたい」と述べた。

費用の増加に伴う医療機関の消費税負担の増加にも課題意識を示し、「少なくとも適切な補填が行われるように厚生労働省に求めている」と説明。個々の医療機関で補填率にばらつきがあるとし、「難しい面もあると思うが、より精緻化していただくように働きかけていきたい」と話した。

(令和7年10月24日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) > メンバーズ > 日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID: 会員 ID (日医刊行物送付番号) の10桁の数字 (半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字 (半角)

## 医師協同組合だより

### 『クレーム対応費用保険』をご存じですか？

もし、クレーム行為により診療が阻害されたら…

医療機関の皆さまのご要望に応え、クレーム行為に対応する  
『無料相談』と『弁護士費用』がセットになった商品です！

#### ① 専門相談窓口への無料相談サービス

##### クレームコンシェル

クレームコンシェルとは、クレーム行為に関する相談窓口のことです。サポートメンバーがクレームに関するご相談に対し、対応方法など解決に向けたアドバイスをを行います。

#### ② 弁護士委任した場合の費用補償

+

相談料

訴訟費用

報酬金

着手金

#### 【主なクレーム事例】

- 患者が「注射してくれるまで帰らない」と診察室で仰向けになり、次の患者が入れない状況になった。
- 待ち時間が長いことに腹を立てた患者が、受付カウンター越しに職員の肩をつかんで罵倒した。
- 医学的に根拠のない内容の診断書を書くように脅され拒否したところ、毎日診療所へ押しかけ「大声を出す」・「居座る」などの業務妨害を受けた。
- 女性看護師や女性事務職員数名に、待合室や廊下などですれ違い時に抱き着くなど、問題行動が再三続けられた。
- 他の患者の前で「ヤブ医者だ」と罵倒された。 …など

#### 【プランの内容と年間保険料】

	お支払いする弁護士費用の支払限度額		
	プラン ①	プラン ②	プラン ③
	1 事故100万円 期間中300万円	1 事故200万円 期間中600万円	1 事故300万円 期間中900万円
	自己負担額 1 万円		
	縮小割合 90%		
一般診療所	20,000円	25,000円	30,000円
病院（100床未満）	80,000円	100,000円	120,000円
病院（100～499床）	100,000円	150,000円	200,000円

宮崎県医師協同組合 TEL (0985) 23-9100

## 「新春随想」原稿募集

恒例になりました「新春随想」を令和8年1, 2月号に企画いたしております。  
このコーナーは大変好評ですので、奮ってご投稿をお願いいたします。

**題 材** 医事評論, 診療閑話, 身辺雑記, 詩歌, 俳句など何でも結構です。  
本文に関連した写真・イラストなど(1枚程度, カラー印刷はできません)  
**字 数** 800字程度(字数が多い場合は「新春随想」として掲載できないことが  
ありますのでご了承ください)

**締 切** 令和7年12月5日(金)

**宛 先** 宮崎県医師会広報委員会

- ◎ 原稿には「新春随想」と明記してください。
- ◎ 掲載については、広報委員会にご一任くださいますようお願いいたします。
- ◎ 掲載はおひとり、1編とさせていただきます。
- ◎ ご投稿の原稿が他誌に掲載, または投稿中の場合はその旨お知らせください。
- ◎ 原則として、原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示ください。
- ◎ 日州医事は、会員以外(マスコミ・行政・図書館など)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し、日州医事原稿専用アドレス(genko@miyazaki.med.or.jp)宛にお送りください。もちろん、それ以外の方法(FAX, 郵便など)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 新春随想係

E-mail: genko@miyazaki.med.or.jp

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

FAX 0985-27-6550 TEL 0985-22-5118

※原稿送付の際は、他の原稿との混同を防ぐため「新春随想」である旨とタイトル、ご氏名を明記のうえお送りください。

**令和7年9月2日(火) 第5回常任理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 後援・共催名義等使用許可について**

①12/7(日)(延岡市)宮崎県理学療法学会の後援について

→「歩み～未踏への足跡～」をテーマに開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。

**2. 9/9(火)県医師会役職員緊急連絡網の訓練について**

災害時に本会役職員の安否確認するためのメールシステムの通信訓練を9月9日(火)に実施することが承認された。

**3. 12/4(木)(日医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会の開催について**

医事紛争における諸問題の検討および共有、「日本医師会医師賠償責任保険制度」の円滑な運営を目的に開催される連絡協議会で、市来常任理事が出席することが承認された。

**4. 医療・介護・保育分野における有料職業紹介「適正認定事業者」のサービス品質に関する調査へのご協力をお願いについて**

有料職業紹介「適正認定事業者」のサービス品質に関する調査への協力を、各郡市医師会を経由して会員へ案内することに加えて、役員メーリングリストと会員メーリングリストで依頼することが承認された。

**5. 11/12(水)九州各県医師会学校保健担当理事者会の開催について**

高木常任理事が出席することが承認された。

**6. 11/15(土)九州学校検診協議会第2回専門委員会の開催について**

心臓部門は高木常任理事、腎臓部門は宮田純一先生、小児生活習慣病部門は澤田浩武先生、運動器部門は帖佐悦男先生と黒木浩史先生に出席を依頼することが承認された。

**7. 10/10(金)(県医)健康スポーツ医学セミナーの開催について**

案のとおり開催することが承認された。

**(報告事項)****1. 週間報告について****2. 8月末日現在の会員数について****3. 9/1(月)(県医)医学会誌編集委員会について****4. 8/28(木)(県医)医師偏在是正に向けた全国広域マッチング事業説明会について****5. 8/28(木)(県医)第1回医師の働き方改革Web研修会について****6. 8/29(金)(県医)県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会について****7. 8/21(木)(県医)学校医部会総会・医学会について****8. 8/26(火)(県防災庁舎)県周産期医療協議会について****9. 8/30(土)(群馬)全国医師会共同利用施設総会について****10. 8/28(木)(県防災庁舎)地域医療対策協議会プログラム運用部会・地域医療対策協議会について****11. 8/27(水)(県防災庁舎)県医療介護推進協議会地域リハビリテーション支援体制検討部会について****12. 8/30(土)(県医)県プライマリ・ケア研究会世話人会・総会・研修会について**

**令和7年9月16日(火) 第11回全理事協議会****医師会関係****(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について**

①地方公務員災害補償基金宮崎支部審査会の委員の推薦について

→地方公務員に対する災害補償の審査会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河原理事が就任することが承認された。

②公務災害補償等認定委員会及び公務災害補償等審査会の委員の推薦について

→県議会議員を含む非常勤職員に対する災害補償を審議する委員会等で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き認定委員会の委員に河原理事、審査会の委員に河野会長を推薦することが承認された。

**2. 業務委託について**

①令和7年度広域インフルエンザ及び新型コロナウイルス定期予防接種（B類疾病）の業務委託契約について

→高齢者のインフルエンザ及び新型コロナウイルス定期予防接種について、圏域を越えて広域的に実施できるよう県内26市町村と契約を行うもので、契約を締結することが承認された。

**3. 後援・共催名義等使用許可について**

①11/9(日)（宮日会館）宮崎県皮膚科医会講演会の後援のお願いについて（名義後援依頼）

→例年11月12日の「いい皮膚の日」の前後に一般の方への啓発活動として開催される講演会で、名義後援を行うことが承認された。

**4. 11/11(火)（県医）県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会の開催について**

県に対し来年度の要望をするための意見交換会で、本会主催で開催することが承認された。要望内容については、各郡市医師会にも照会し、担当役員が各郡市医師会の

意見を含め簡潔に取りまとめることとなった。

**5. 10/23(木)（日医）第46回産業保健活動推進全国会議の開催について**

産業保健活動の在り方等を検討することを目的に開催される全国会議で、河原理事の出席と郡市医師会に案内することが承認された。

**6. 10/2(木)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会いについて**

1 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、嶋本常任理事を立会人として派遣することが承認された。

**7. 1/29(木)（日医）第11回ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして－ケーススタディから学ぶ医の倫理－」の開催について**

「善きサマリア人法」をテーマに開催されるワークショップで、落合常任理事が出席することが承認された。

**(報告事項)****1. 9/3(水)（日医）日医地域医療対策委員会について****2. 9/5(金)（県医）「地域医療構想の取組の推進に向けた調査」にかかる説明会について****3. 9/8(月)未来の医療を考える会（広報委員会勉強会）について****4. 9/6(土)（県医）県医師会医学会について****5. 9/8(月)（県医）県感染症危機管理研修会・予防接種従事者研修会について****6. 9/10(水)日医学校保健委員会について****7. 8/28(木)（県医）県との妊婦健診等に関する協議会について****8. 9/4(木)性と生殖に関する調査検討会について****9. 9/4(木)・5(金)・9(火)・10(水)・12(金)（宮大医学部）医局員に対する医師会活動説明会について****10. 9/9(火)（県医）組織強化・将来構想委員会小委員会について****11. 9/5(金)（県医）認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について****12. 9/4(木)（宮大医学部）宮崎大学医学部医の倫理委員会について**

13. 9/13(土) (沖縄) 日医女性医師支援・ドクターバンク連携九州ブロック会議について
14. 8/27(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会・労災部会理事会について
15. 9/13(土) (県医) 産業医研修会 (実地) について

医師連盟関係  
(議決事項)

1. 10/20(月) (KITENビル) 県内経済団体代表者による「宮崎を語る会」の開催について  
協議内容によって出欠を検討することとなった。

(報告事項)

1. 9/11(木) (宮観ホテル) 三師会懇談会について

令和7年9月30日(火) 第12回全理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

1. 会費減免申請について

疾病による日医会費・県医会費減免2名と、高齢による県医会費減免1名の申請が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

- ①県がん対策審議会委員の推薦について  
→本県におけるがん対策の重要事項を審議するための審議会委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

- ①11/22(土) (宮崎市) 第13回呼吸療法勉強会の後援について  
→呼吸療法に携わる医療従事者を対象に、質の高い呼吸管理と看護・リハビリテーションを提供するための必要な知識・実技等を習得することを目的に開催する勉強会で、名義後援を行うことが承認された。
- ②R8.10/10(土)・11(日) (宮崎市) PDNセミナー第14回九州PEGサミットin宮崎のご後援のお願いについて  
→PEG (経皮的内視鏡下胃瘻造設術) に

関する情報交換と地域連携を目的に本県で開催されるセミナーであり、名義後援を行うことが承認された。

4. 11/9(日) (県医) 県民健康セミナーの開催について

案のとおり県民健康セミナーを開催することが承認された。

5. 10/16(木) (県防災庁舎) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

2 医療機関を対象に行われる個別指導で、田畑理事を立会人として派遣することが承認された。

6. 10・11月の行事予定について  
(報告事項)

1. 週間報告について
2. 9/17(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について
3. 9/18(木) (日医) 日医有床診療所委員会について
4. 9/19(金) (宮観ホテル) 未来の医療を語るオールみやざき交流会について
5. 9/27(土) (福岡) 九医連常任委員会について
6. 9/18(木) (高鍋保健所) 西都児湯地域医療構想調整会議について
7. 9/27(土) (福岡) 九医連連絡協議会について
8. 9/20(土) (シーガイア) 保育支援事業スキルアップ研修会・全体顔合わせ会について
9. 9/24(水) (県医) 広報委員会について
10. 9/18(木) (県防災庁舎) 社会保険医療担当者の集団的個別指導について
11. 9/25(木) 日医医業経営検討委員会について
12. 9/24(水) (県医) 医師クラーク育成・スキルアップ研修会について
13. 9/29(月) (県医) 園医部会総会・研修会について
14. 9/25(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
15. 9/25(木) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について

16. 9/17(水)・26(金) (宮大医学部) 医局員に対する医師会活動説明会について
17. 9/17(水)日医公衆衛生委員会について
18. 9/27(土) (福岡) 九医連勤務医連絡協議会について
19. 9/20(土) (県医) 産業医研修会について
20. 9/24(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会・労災部会理事会について

#### 医師連盟関係 (議決事項)

1. 11/18(火)・12/7(日) (東京・福岡) 参議院議員自見はなこ政策セミナー開催のお知らせについて  
12/7に小倉で開催されるセミナーに河野委員長が出席し、協力することが承認された。
2. 公明党宮崎県本部 2025年度の政策要望について  
自民党県連へ提出した「国政に対する要望」と同内容を提出することが承認された。

## お知らせ

### 令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生採用のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。

貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、宮崎学園短期大学よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、採用に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

#### 令和8年3月末卒業予定者

【就職希望者】 7名 (男0名, 女7名)

【就職希望地】 宮崎市内5名, 都城1名,  
日向・延岡0名, 西都・高鍋1名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL: 0985-85-0146

現代ビジネス科 講師 山本 優子  
キャリア教育センター センター長 河野 豪

# 県 医 の 動 き

(10月)

2	日医SNSの活用に関する勉強会 (Web会議) (荒木常任理事) 社会保険医療担当者の新規個別指導 (嶋本常任理事) 県立病院事業評価委員会 (会長) 生活習慣病検診従事者研修会 (TV会議) (玉置常任理事)
3	(国富町) ロコモ予防運動推進事業養成講座 (新富町) ロコモ予防運動推進事業養成講座 地域医療現場における働きやすい環境を考える会 (荒木常任理事他)
4	ICLS指導者養成ワークショップ 日医臨時代議員会 (Web会議) (会長他)
5	ALS研修会
6	医局員に対する医師会活動説明会 (産婦人科学) (松岡理事) 三師会 県立学校医等の報酬基準額に関する打合せ会 (高木常任理事)
7	第13回全理事協議会 (会長他) 宮崎大学と県医師会との懇談会 (会長他)
8	(日医) 都道府県医師会組織強化担当役職員連絡協議会 (大塚常任理事) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事) 日医医師偏在是正に向けた全国広域マッチング事業に関する打合せ会 (荒木常任理事)
9	県保健医療福祉調整本部図上訓練事前説明会 (Web会議) (金丸副会長他) 県産婦人科医会常任理事会 (嶋本常任理事他) 在宅医療研修会企画小委員会 (Web会議) (吉見常任理事)
10	県と市町村との妊婦健診等に関する協議会 (Web会議) (嶋本常任理事他) スポーツドクター連盟総会 (大塚常任理事) 健康スポーツ医学セミナー (Web会議) (会長他)
11	(福井) 全国医師国保組合連合会代表者会・全体協議会 (小牧副会長) 県医師協同組合創立40周年記念行事 (河野理事長他)
12	宮崎から医師をめざそう! 応援フォーラム (吉見常任理事他)
13	(日医) 診療所を対象とした新興感染症対策リーダー研修 (金丸副会長他)
14	県障害者施策推進協議会 (金丸副会長) 第6回常任理事協議会 (Web会議) (会長他)
15	支払基金審査運営協議会 (会長) 広報委員会 (荒木常任理事他)
16	社会保険医療担当者の個別指導 (田畑理事) (日医) 日医広報委員会 (荒木常任理事) 県訪問看護ステーション連絡協議会役員と各支部との意見交換会 (池井常任理事) 県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防研修会 (Web会議) (会長他)
18	保健医療福祉調整本部図上訓練 (田畑理事) (愛知) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会等 (池井常任理事) (福岡) 九医協連通常総会 (河野理事長他)

19	県小児科医会秋季学術講演会 (高木常任理事)
20	医局員に対する医師会活動説明会 (精神医学) (松岡理事) 広報委員会 (荒木常任理事他)
21	(日医) 都道府県医師会会長会議 (会長) 組織強化・将来構想委員会小委員会 (Web会議) (小牧副会長他) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (玉置常任理事)
22	宮崎大学・県獣医師会・県医師会によるSFTS連携協定の事前打合せ (Web会議) (峰松理事)
23	産業保健活動推進全国会議 (Web会議) (吉見常任理事他) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 (大塚常任理事) 医療現場のワークライフバランスセミナー (Web会議) (会長他) 県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会 (吉見常任理事他) 県整形外科医会保険審査委員打合せ会議 (Web会議)
24	日医救急災害医療対策委員会地域包括ケアシステムにおける救急医療ワーキンググループ (Web会議) (落合常任理事)
25	県警察医会協議会 (玉置常任理事) 県警察医会総会・特別講演会 (玉置常任理事) (北海道) 日医未来医師会ビジョン委員会 (大塚常任理事) 宮崎江南病院創立70周年記念式典 (会長)
26	人体シミュレータを用いた小児在宅医療実技講習会 (高木常任理事) (北海道) 日医未来医師会ビジョン委員会 (大塚常任理事) (日医) 日医社会保険指導者講習会 (嶋本常任理事) イーレジフェアオンライン (Web会議) (大塚常任理事) 全国有床診療所協議会理事会・常任執行委員会 (Web会議) (会長)
27	宮大医学部附属病院専門研修プログラム連絡協議会 (大塚常任理事) 県立学校医等の報酬基準額に関する三師会要望 (会長他) 高木兼寛顕彰演劇実行委員会 (会長)
28	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) 医師協理事会 (河野理事長他) 医師協理事・運営委員合同協議会 (河野理事長他) 第14回全理事協議会 (会長他) 各郡市医師会長協議会 (会長他)
29	労災診療指導委員会・労災部会理事会 (赤須常任理事他) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事) 県健康づくり推進協議会 (金丸副会長) 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議)
30	県個人情報保護審議会 (荒木常任理事) 県麻しん風しん対策会議・予防接種広域化検討会議・HPVワクチン接種情報共有会 (Web会議) (高木常任理事)
31	医療保険請求事務実技試験



## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和7年10月1日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 12人

希望診療科目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	1	0	1
外 科	1	1	0
整 形 外 科	2	2	0
精 神 科	1	0	1
消 化 器 内 科	2	0	2
放 射 線 科	1	0	1
総 合 診 療 科	1	0	1
産 婦 人 科	1	0	1
老 健	2	1	1

### 2. 斡旋成立件数 108人

	合 計
令和7年度(4/1～10/1)	4
平成16年度から累計	108

### 3. 求人登録 100件 281人

(人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	88	67	21
外 科	19	17	2
整 形 外 科	19	16	3
精 神 科	12	11	1
脳 神 経 外 科	2	2	0
循 環 器 科	14	11	3
消 化 器 内 科	19	15	4
麻 酔 科	5	5	0
眼 科	10	6	4
放 射 線 科	9	9	0
小 児 科	3	2	1
呼 吸 器 科	0	0	0
在 宅 診 療	4	3	1
総合診療科・内科	11	8	3
脳 神 経 内 科	2	2	0
呼 吸 器 内 科	10	8	2
リハビリテーション科	5	3	2
救 命 救 急 科	7	5	2

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
消 化 器 外 科	4	2	2
乳 腺 外 科	2	2	0
健 診	2	2	0
泌 尿 器 科	4	3	1
産 婦 人 科	0	0	0
検 診	0	0	0
皮 膚 科	0	0	0
婦 人 科	0	0	0
呼 吸 器 外 科	0	0	0
人 工 透 析	12	8	4
リウマチ科	2	1	1
臨床病理科	0	0	0
形 成 外 科	0	0	0
診療科目不問	8	4	4
緩 和 ケ ア	0	0	0
内分泌糖尿病内科	3	3	0
そ の 他	5	3	2
合 計	281	218	63

## 求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	5	常勤・非常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	5	常勤・非常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	社福)介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透 (いずれか)	1	常勤
230214	医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ (いずれか)	1	常勤
230215	医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ,リウ	6	常勤・非常勤
230220	医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整 (いずれか)	2	常勤
230224	医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック「un」	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230235	医)青葉会 のぎきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
230240	医)順養会 海老原病院	国富町	内	1	常勤
230241	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
230246	医)灯仁会 あおやま訪問・救急クリニック	宮崎市	救急,内,在宅,総診,不問	10	常勤・非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	公社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤

登録番号	施 設 名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230192	医) 社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230208	医) 社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内,泌,腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外 (いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内, 消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外	2	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外 (いずれか)	1	常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和7年10月1日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2,022.17㎡ (612.77坪) 所有者: 児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地: 2,280.83㎡ (691.16坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 土地: 1,654.58㎡ (501.38坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)
	④ 日向市財光寺615 土地: 1,704.79㎡ (515.70坪) 建物: 鉄筋コンクリート2階建 1階 333.69㎡ 2階 117.27㎡ 車庫 36.60㎡ 計 487.56㎡ (147.49坪) ※駐車場あり (16台)
	⑤ 延岡市本町2丁目3-5 土地: 893.18㎡ (270.19坪) 建物: 木造スレート葺2階建 1階 173.08㎡ 2階 44.72㎡ 計 217.80㎡ (65.89坪) ※駐車場あり (15台)
	⑥ 宮崎市原町12-1 土地: 459.69㎡ (139.06坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 249.20㎡ 2階 184.38㎡ 3階 15.55㎡ 計 449.13㎡ (135.86坪) ※駐車場あり (6台) 別途, 賃貸の駐車場 (22台)
2. 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地: 4,449㎡ (1,348.18坪) 建物: 鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)
3. 賃貸物件	① 都城市東町10街区18号 土地: 614.18㎡ (186.11坪) 建物: 鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり (3台) 別に隣接病院駐車場あり (応相談) ※賃貸部分は, 2階, 3階 (グループホームやすらぎ)
	② 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地: 750.44㎡ (227.40坪) 建物: 木造スレートぶき2階建 (旧) のぞみ医院跡 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり (15台)
	③ 宮崎市大字本郷南方2456番地1 土地: 1801.76㎡ (545.03坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 282.52㎡ (85.46坪) ※駐車場あり (20台)

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し, 求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は, 月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は, 所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は, 「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179 E-mail: isikyoku@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

### 宮崎県医師会広報委員会

E-mail : [genko@miyazaki.med.or.jp](mailto:genko@miyazaki.med.or.jp)

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL： FAX：

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和7年10月29日

11			月		
1	土		18	火	13:30 宮大経営協議会 18:30 医局員に対する医師会活動説明会 (消化器内科学)
2	日	11:00 糖尿病予防フェスタ 11:30 (東京) 全医協連通常総会	19	水	19:00 広報委員会
3	月	(文化の日) 8:30 県医親善ゴルフ大会	20	木	10:00 県個人情報保護審議会 14:00 国民医療を守るための総決 起大会(Web会議) 14:30 県国保等はり、きゅう及び あん摩マッサージ療養費 審査委員会 18:00 医師クラーク育成・スキル アップ研修会(Web会議) 19:00 医師協同組合会計監査
4	火	19:00 第7回常任理事協議会			
5	水	15:00 県立宮崎病院グランドオープン記念式典 17:30 地域医療連携懇談会			
6	木	16:00 (日医) 日医予防接種・感染症危 機管理対策委員会 19:00 医師会立看護学校担当理事連絡協議会			
7	金		21	金	18:30 (神奈川) 全国学校保健・学 校医大会会長招宴
8	土	10:00 (岩手) 全国医師会勤務医部会連 絡協議会 16:00 県整形外科医会研修会	22	土	10:00 (神奈川) 全国学校保健・学 校医大会 14:30 産業医研修会(実地)
9	日	10:00 (岩手) 勤務医交流会 13:30 県民健康セミナー	23	日	(勤労感謝の日)
10	月	19:00 県医療事故調査支援団体連絡協議会・ 県医医療事故調査支援委員会合同会議	24	月	(振替休日)
11	火	18:30 第15回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会 との意見交換会	25	火	18:30 医師協理事会(Web会議) 19:00 医師協理事・運営委員合同 協議会(Web会議) 終了後 第16回全理事協議会(Web会議)
12	水	13:00 日医救急災害医療対策委員会(Web会議) 14:00 日本スポーツ振興センター災害共 済給付事業運営協議会 14:00 宮崎大学医学部附属病院医師研修 管理委員会 16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 広報委員会 19:00 九州各県医師会学校保健担当理事 者会(Web会議)	26	水	14:30 日医救急災害医療対策委員 会地域包括ケアシステム における救急医療ワーキ ンググループ(Web会議) 15:00 労災診療指導委員会・労災 部会理事会 17:00 医師を目指す学生のための キャリアセミナー
13	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会 19:00 医師国保組合理事会	27	木	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
14	金	13:30 みやざき愛の献血運動推進県民大会 19:00 県外科医会秋期講演会(Web会議)	28	金	14:00 都道府県医師会自賠責保険担当理 事連絡協議会(Web会議) 16:00 (福岡) 九医連常任委員会 17:00 (福岡) 九医連臨時委員総会
15	土	15:00 九州学校検診協議会専門委員会・ 全体協議(Web会議)	29	土	10:00 (福岡) 九医連委員・九州各県医 師会役員合同協議会 12:00 宮崎大学医学部附属病院研修ロー テート等説明会 13:00 (福岡) 九州医師会総会・医学会
16	日	10:00 日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会			
17	月	17:00 鹿児島県医師会との災害医療に関 する意見交換会(Web会議) 19:00 組織強化・将来構想委員会小委員会			
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			30	日	(福岡) 九州医師会医学会分科会・ 記念行事

国  
保  
審  
査社  
保  
審  
査

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和7年10月29日

12			月		
1	月		14	日	8:30 指導医のための教育ワークショップ
2	火	19:00 第8回常任理事協議会	15	月	17:00 地域医療対策協議会プログラム運用部会
3	水	19:00 医学賞選考委員会 (Web会議)			18:00 地域医療対策協議会
4	木	13:30 都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 (Web会議)	16	火	19:00 自殺対策うつ病研修会 (Web会議)
		16:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会			18:30 第17回全理事協議会
		19:00 県医中間監事監査	17	水	19:00 役職員懇談会
5	金	19:00 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会実行委員会 (Web会議)			16:00 支払基金審査運営協議会
			18	木	19:00 広報委員会
6	土	18:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会 (Web会議)			14:00 (日医) 日医広報委員会
7	日	14:30 産業医研修会 (TV会議) (吉見常任理事)	19	金	19:00 日医社保指導者講習会伝達講習会 (Web会議)
		16:00 病院部会・医療法人部会合同研修会			13:00 (東京) 九州各県アイバンク連絡協議会
8	月	9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	20	土	14:00 (東京) 全国アイバンク連絡協議会
		19:00 新たな地域医療構想を見据えたかかりつけ医機能報告に係る研修会 (Web会議)			19:00 (都城市) 都城市北諸県郡医師会忘年会
		20:00 地域医療委員会・救急災害医療対策委員会	21	日	
9	火		22	月	
10	水		23	火	14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会
11	木	14:00 県保険者協議会			18:30 医師協理事会 (Web会議)
		18:00 県医療審議会及び医療法人等部会	24	水	19:00 医師協理事・運営委員合同協議会 (Web会議)
		19:00 外国人患者受入れに関する研修会 (Web会議)			終了後 第18回全理事協議会 (Web会議)
12	金	19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)	25	木	(会館大掃除)
		19:00 (延岡市) 延岡市医師会会員忘年会			15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会
13	土	18:00 指導医のための教育ワークショップ打合せ会	26	金	15:00 (日医) 日医有床診療所委員会
		19:00 県産婦人科医会HTLV-1母子感染対策事業研修会 (Web会議)			18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
		9:00 指導医のための教育ワークショップ	27	土	
		13:35 指導医のための教育ワークショップ記念撮影	28	日	
		14:55 県産婦人科医会ひむか性教育シンポジウム (Web会議)	29	月	(年末休業)
		15:00 (日医) 日医未来医師会ビジョン委員会	30	火	(年末休業)
			31	水	(年末休業)

※都合により、変更になることがあります。  
 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。



# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
<b>第211回宮崎県眼科医会講習会</b> 11月1日(土) 16:00～19:00 宮崎大学錦本町ひなたキャンパス わくわくセンター 参加費：3,000円	<b>OCTを活用したより良い網膜診療</b> 愛知医科大学病院 眼科 講師 坪井 孝太郎	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 中外製薬(株)
	ぶどう膜炎の診断，治療について 大分大学医学部 眼科学講座 教授 武田 篤信	36 (1.0)	
<b>延岡医学会学術講演会</b> <b>(Web講習会)</b> 11月7日(金) 19:00～20:00 マリエールオークパイン延岡「フェリーチェ」 ※受講は現地またはWeb	<b>肝炎治療の最前線</b> 宮崎大学医学部附属病院 肝疾患センター センター長 永田 賢治	73 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター ギリアド・サイエンシズ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
<b>令和7年度宮崎県整形外科医会研修会</b> 11月8日(土) 16:00～18:15 宮崎県医師会館	<b>令和7年度全国整形外科保険審査委員会議報告について</b> 県国民健康保険診療報酬審査委員 濱田 浩朗 他	9 (1.0)	◇主催 ※宮崎県整形外科医会 ☎0985-22-5118 ◇共催 旭化成ファーマ(株)
	<b>高齢者の脊椎診療(骨粗鬆症も含めて)</b> 宮崎大学医学部附属病院 整形外科 永井 琢哉	77 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
<b>皮膚の日講演会 (Web講習会)</b> 11月9日(日) 14:00～15:30 宮日会館11階ホール ※受講は現地またはWeb	<b>食物繊維と腸内細菌</b> 青木皮膚科 出盛 允啓	9 (1.5)	◇主催 宮崎県皮膚科医会・ 日本臨床皮膚科医会 ◇共催 日本皮膚科学会 ◇後援 厚生労働省 日本医師会 NHK 宮崎県医師会 (連絡先) 宮崎県皮膚科医会 ☎0985-23-2011
<b>お昼のHPVワク チンセミナー (Web講習会)</b> 11月10日(月) 12:30～13:40 宮崎県立看護大学 会議室 ※受講はWebのみ	<b>HPVワクチン定期接種の重要性と宮崎県での取り組み</b> 宮崎県立看護大学 専門基礎分野 教授 川越 靖之	11 (1.0)	◇主催 宮崎県産婦人科医会 ◇共催 ※MSD(株) ☎0985-28-9496
<b>宮崎市郡内科医会 学術講演会 (Web講習会)</b> 11月10日(金) 19:00～20:00 大塚製薬宮崎出張所 ※受講はWebのみ	<b>臨床イナーシャを克服し厳格な降圧治療をめざす二つのカナメ</b> 心臓血管研究所 名誉所長 山下 武志	74 (1.0)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 大塚製薬(株) ノバルティスファーマ(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
<b>宮崎県医師会産業 医研修会</b> 11月12日(水) 19:00～20:00 宮崎県医師会館	<b>高ストレス者への面接指導とロールプレイによる実務的研修</b> 産業保健相談員 産業カウンセラー 人財科学研究所 代表 工藤 智徳  生涯研修の实地研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
<b>第199回宮崎心臓病研究会 (Web講習会)</b> 11月12日(水) 19:00～20:10 宮崎観光ホテル東館2階「初雁の間」 ※受講は現地またはWeb	<b>腫瘍循環器学－がん治療と心臓を守る最新戦略</b> 福島県立医科大学医学部 循環器内科学講座 主任教授 竹石 恭知  他	45 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
<b>都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 (Web講習会)</b> 11月13日(木) 19:00～20:10 未来創造ステーション会議室1 ※受講は現地またはWeb	<b>心臓・脳血管・透析センターの設立について</b> 都城市郡医師会病院 副院長 兼 循環器内科 部長 岩切 弘直  他	75 (1.0)	◇主催 都城市北諸県郡内科医会 ◇共催 ノバルティスファーマ(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711
<b>令和7年度宮崎県外科医会秋期講演会(日本臨床外科学会地方会) (Web講習会)</b> 11月14日(金) 19:00～20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	<b>2040年sustainableな消化器外科診療を目指して</b> 新小山市民病院 理事長・病院長 佐田 尚宏	7 (1.0)	◇主催 ※宮崎県外科医会 ☎0985-23-9100
<b>延岡医学会学術講演会 (Web講習会)</b> 11月14日(金) 19:00～20:00 アパホテル延岡駅前1F会議室 ※受講はWebのみ	<b>高血圧治療におけるナトリウム利尿ペプチドとレニン・アンジオテンシン系の意義</b> みずの内科・血圧心臓クリニック 院長 水野 雄二	74 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 大塚製薬(株) ノバルティスファーマ(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
<b>日医かかりつけ医 機能研修制度令和 7年度応用研修会</b> 11月16日(日) 10:00～17:15 宮崎県医師会館	<b>肝臓病の診断と治療</b> 労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長 竹原 徹郎	82 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	<b>慢性腎臓病(CKD)の診断と治療</b> 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター センター長 成田 一衛	73 (1.0)	
	<b>高齢者肺炎の治療と多職種連携</b> 東北大学医学系研究科 臨床障害学分野 教授 海老原 寛	15 (1.0)	
	<b>かかりつけ医に必要な骨粗鬆症への対応</b> 帝京大学ちば総合医療センター 病院長 第三内科学講座 主任教授(内分泌代謝) 井上 大輔	77 (1.0)	
	<b>かかりつけ医とリハビリテーションの連携</b> 東京慈恵会医科大学 リハビリテーション医学講座 講師 木下 翔司	19 (1.0)	
	<b>事例検討</b> <b>～在宅医療における連携/認知症を含むマルチモビディ ティへの取組～</b> 織田病院 理事長 織田 正道 他	80 (1.0)	
<b>都城市北諸県郡医 師会学術講演会</b> <b>(Web講習会)</b> 11月18日(火) 19:00～20:00 未来創造ステ ーション会議室1 ※受講は現地また はWeb	<b>カリウム管理に関する最近の話題</b> <b>～CKD診療ガイド2024のポイントも含めて～</b> 京都府立医科大学医学研究科 腎臓内科学 学内講師 草場 哲郎	33 (1.0)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 アストラゼネカ(株)

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 11月19日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 11月20日(木) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	身近なものから始める化学物質管理 産業保健相談員 なかほぎ労働衛生コンサルタント事務所 所長 中甫木 直樹  生涯研修の更新研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
延岡医学会学術講 演会 ～第60回宮崎県北 地区整形外科医会 学術講演会～ (Web講習会) 11月22日(土) 16:00～18:00 キャトルセゾンマ ツイ ※受講は現地また はWeb	骨粗鬆症加療アップデート 何が変わった2025 獅子目整形外科病院 院長 獅子目 亨  ----- 骨粗鬆症治療と骨腫瘍 久留米大学医学部 整形外科学教室 主任教授 平岡 弘二	9 (1.0)   77 (1.0)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 アステラス製薬(株) アムジェン(株) 宮崎県北地区整形外科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
令和7年度医師等 医療従事者結核研 修会 (Web講習会) 11月25日(火) 19:00～20:30 宮崎県高鍋保健所 2階研修室 ※受講は現地また はWeb	結核診療アップデート ～外国人、高齢者結核と画像診断・喀痰検査の最前線～ 結核予防会 結核研究所 対策支援部 企画・医学科 科長 平尾 晋	8 (1.0)	◇主催 宮崎県高鍋保健所 (連絡先) 宮崎県高鍋保健所健康づくり課 ☎0983-22-1330

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
第59回児湯内科医 会学術講演会 11月26日(水) 19:00～20:00 児湯医師会館	BPSDの考え方と対応 平和台病院 副院長 齊之平 一隆	29 (1.0)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 大塚製薬㈱ (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641
宮崎県医師会産業 医研修会 11月26日(水) 19:00～21:00 延岡市職業訓練支 援センター	高ストレス者への面接指導とロールプレイによる実務 的研修 産業保健相談員 産業カウンセラー 人財科学研究所 代表 工藤 智徳  生涯研修の实地研修会：2単位	5 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第16回はまゆう整 形外科セミナー 11月29日(土) 17:00～18:00 宮崎観光ホテル東 館2階「日向の間」  参加費：1,000円	骨粗鬆症がなければHip fracture(HF)はない？ HFについて語るときに僕の語ること 小牧病院 院長 小牧 亘  変形性股関節症～知識のアップデート～ 小牧病院 坂本 武郎	77 (0.5)  61 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整 形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986
令和7年度県西地 域結核医療従事者 研修会 (Web講習会) 12月3日(水) 19:00～20:40 都城保健所 ※受講はWebのみ	低蔓延化を見据えた結核対策，早期発見・診断のポイ ント(仮) 結核予防会 結核研究所 対策支援部 企画・医学科 科長 平尾 晋	8 (1.5)	◇主催 ※宮崎県都城保健所 ☎0986-23-4504 ◇共催 宮崎県小林保健所
宮崎県医師会病院 部会・医療法人部 会合同研修会 12月6日(土) 17:00～18:05 シーガイアコンベ ンションセンター 3階「瑞洋」	縮みゆく社会の中で病院の持続可能性を考える 全日本病院協会 会長 神野 正博	0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会病院 部会・医療法人部会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
<b>第93回宮崎県精神科医会懇話会</b> 12月6日(土) 17:30～19:00 アートホテル宮崎 スカイトワー3F	<b>不眠症診療における新たな治療薬への期待と課題</b> 琉球大学医学研究科 精神病態医学講座 教授 高江洲 義和	20 (1.5)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 塩野義製薬(株)
<b>いろはに漢方 ～初級・中級者 コース～ (Web講習会)</b> 12月10日(木) 19:00～20:00 宮崎県医師会館 ※受講はWebのみ	<b>近ごろ気になる「気」のトリセツを考える</b> ちぐさ東洋クリニック 院長 川越 宏文	83 (1.0)	◇主催 宮崎県医師会東洋医会 ◇共催 ※クラシエ薬品(株) ☎092-291-8131
<b>宮崎県医師会産業医研修会</b> 12月10日(水) 19:00～21:00 串間市総合保健福祉センター	<b>健康経営を導くワークライフバランス</b> 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
<b>第255回宮崎県泌尿器科医会学術講演会</b> 12月11日(木) 19:00～20:00 宮崎観光ホテル東館2階「紅の間」	<b>宮崎大学医学部附属病院の「診療日変更」について ～経緯説明とお願い～</b> 宮崎大学医学部 泌尿器科 教授 賀本 敏行	0 (1.0)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968
<b>令和7年度HTLV-1母子感染対策事業研修会 (Web講習会)</b> 12月12日(金) 19:00～20:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地またはWeb	<b>HTLV-1と皮膚のかかわり</b> 古賀総合病院 皮膚科 天野 正宏  専門医共通講習－感染対策：1単位	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県産婦人科医会 ☎0985-22-5118

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
令和7年度宮崎県 緩和ケア研修会 12月13日(土) 8:30～17:10 県立日南病院2階 講堂	e-learningの復習・質問 県立日南病院 副院長 市成 秀樹	15 (0.5)	◇主催 ※県立日南病院 ☎0987-58-2152
	全人的苦痛に対する緩和ケア 【グループ演習/ワークショップ】(アイスブレイキング含む) 宮崎大学医学部附属病院 麻酔科 外来医長 山賀 昌治	10 (1.5)	
	コミュニケーション 【ロールプレイング/ワークショップ】 宮崎大学医学部附属病院 精神科 副科長 船橋 英樹	4 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携 【グループ演習/ワークショップ】 県立日南病院 副院長 木佐貫 篤	12 (1.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 12月17日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	健康経営を導くワークライフバランス 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会: 2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第212回宮崎県眼 科医会講習会 12月20日(土) 16:00～19:05 KITENビル8F コンベンション ホール大会議室  参加費: 3,000円	糖尿病網膜症の治療戦略: 硝子体手術と網膜光凝固の 役割を再考する 秋田大学医学系研究科医学専攻 病態制御医学系 眼科学講座 教授 岩瀬 剛	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬(株)
	実践グラネア外来 緑内障と角膜の接点を診る 国際医療福祉大学 医学部眼科学 教授(代表) 白井 智彦 国際医療福祉大学 成田病院 眼科 部長	36 (1.0)	
第91回宮崎整形外 科懇話会 12月20日(土) 17:30～18:30 宮崎県医師会館  参加費: 1,000円	骨軟部腫瘍の診断と治療～基本から最新トピックスまで～ 福島県立医科大学 整形外科学講座 主任教授 松本 嘉寛	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 旭化成ファーマ(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986



名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 1月10日(土) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	石綿(アスベスト)関連疾患診断技術研修会(専門研修) 「石綿関連疾患胸部画像診断の読影実習」 中部労災病院 副院長 松尾 正樹 他  生涯研修の現地研修会：2単位	45 (2.0)	◇主催 (独)労働者健康安全機構 ◇共催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511
令和7年度依存症 地域対策支援事業 依存症支援者研修 会 1月11日(日) 13:00～17:00 宮崎県精神保健福 祉センター5階研 修室	依存症の理解～困った人は困っている人～ あきやま病院 副院長 福田 貴博  ----- 問題解決しない事例検討会の理念 全国の活動と宮崎県の取り組み 問題解決しない事例検討会 あきやま病院 副院長 福田 貴博	5 (1.0)  5 (3.0)	◇主催 宮崎県障がい福祉 課(吉田病院受託) (連絡先) 吉田病院 ☎0982-37-0126
宮崎県医師会産業 医研修会 1月14日(水) 19:00～21:00 串間市総合保健福 祉センター	産業医としての発達障がい者就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第63回宮崎救急医 学会 1月17日(土) 13:00～18:00 宮崎県医師会館  参加費：1,000円	緊急手術疾患(Emergency General Surgery)のマ ネージメントのアップデート ～軟部組織感染症から急性腹症まで～ 東京科学大学病院 救命救急センター長 木下 幸治	14 (1.0)	◇主催 第63回宮崎救急医学会 (連絡先) 県立宮崎病院 ☎0985-24-4181
宮崎県医師会産業 医研修会 1月21日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	産業医としての発達障がい者就労支援 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 1月23日(金) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	労災事故を防ぐための保護具の正しい使用法 産業保健相談員 宮崎大学国際連携機構・国際連携センター 客員教授 黒田 嘉紀  生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月28日(水) 19:00～21:00 串間市民病院会議室	人生100年時代における高年齢労働者の安全対策 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 1月29日(木) 13:30～15:30 延岡市職業訓練支 援センター	この一年間(令和7年)の産業保健の動向 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武  生涯研修の更新研修会：2単位	6 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 1月29日(木) 19:00～20:00 南那珂医師会館2 階大ホール ※受講は現地また はWeb	プライマリでできるアルツハイマー型認知症治療 ～ドネペジル貼付剤(アリドネパッチ)の使いどころを 考える～ 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 精神医学分野 講師 船橋 英樹	29 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 興和(株)
令和7年度高次脳 機能障がい講演会 (Web講習会) 1月30日(金) 19:00～21:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb	高次脳機能障害の診断・治療・支援について 錦海リハビリテーション病院 副病院長 橋本 圭司	29 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118

# 医師年金

<認可特定保険業者> 公益社団法人 日本医師会

## ご加入のおすすめ

**加入資格** 64歳6カ月未満の日本医師会会員（会員区分は問いません）

保険料は  
いつでも自由に  
増減できます！

予定利率は1.5%  
（令和7年4月現在）

### 年金検討チェックリスト

- ☐ 公的年金だけでは現役時代の生活水準の維持が難しい
- ☐ コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- ☐ 一生受け取れる年金が望ましい
- ☐ 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- ☐ 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい

1つでも該当したら…

余裕資金を随時払って  
上限なく増額  
できます

事務手数料は  
払込保険料に対して  
0.25%だけです

## 医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、  
簡単シミュレーション！



医師年金 検索

<https://nenkin.med.or.jp>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額シミュレーションができます。  
ぜひお試しください。

▼個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人  
**日本医師会 年金福祉課**

TEL : 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時(平日)

E-mail : [nenkin@po.med.or.jp](mailto:nenkin@po.med.or.jp)



## 診療メモ

## 冬の感染症について

宮崎県立宮崎病院 内科 <sup>やま</sup>山 <sup>なか</sup>中 <sup>あつ</sup>篤 <sup>し</sup>志

気温が次第に低下する季節になると、感染症への備えを意識される先生方も多いのではないのでしょうか。冬季に特に注意すべき感染症の中心は、やはりウイルスによる呼吸器感染症であり、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルスなどがあります。そのなかでも、インフルエンザは毎年冬に流行を繰り返す代表的な感染症です。しかし2020年のCOVID-19パンデミックにより、インフルエンザの流行はこれまでにない様相を呈しました。具体的には2020/2021年および2021/2022年シーズンには、従来のような大規模流行は認められず、極めて低い水準で推移しました。2022年になると世界的に移動制限が緩和され、ヒトの移動が戻り始めたことで、2022/2023年シーズンには流行が再開しましたが、依然として例年より小規模にとどまりました。2023年には国内でCOVID-19が2類相当から5類感染症へ移行し、人々の生活や移動が平常化していったことにともない、インフルエンザも再び顕著に流行しました。このときの流行は例年と異なり、秋口から早期に始まり翌年春まで長く続き、ピークは比較的低いものの累計患者数はCOVID-19以前よりも多い結果となりました。続く2024/2025年シーズンには、COVID-19流行前のように年末年始にピークを迎える典型的な流行パターンに戻り、しかも定点当たりの報告数は調査開始以来最多を記録しました。こうした経過から、2023年以降のイ

ンフルエンザ流行はリバウンドともいえる様相を呈しています。2025/2026年シーズンについてはどうでしょうか。オーストラリア（6～8月が冬季）の流行状況は日本での流行予測の参考となりますが、昨年と比べると流行前の時期から患者数が多く、ピークは昨年同様7月に迎えたとみられます。

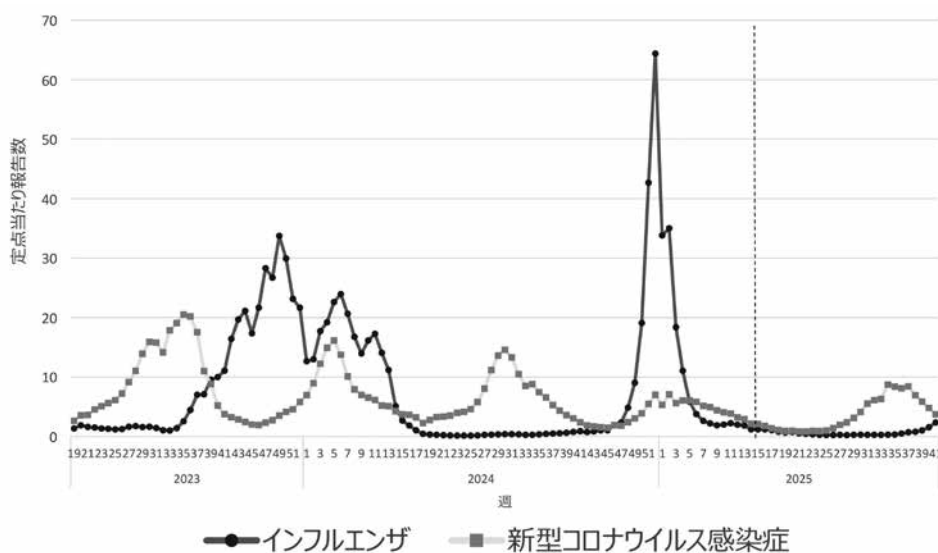
次に注目すべき呼吸器感染症はやはりCOVID-19と考えられます。現在は夏季・冬季いずれにも流行が見られ、今冬も注視すべき感染症と言えるでしょう。COVID-19流行初期には、罹患者への偏見や社会的分断が問題となりましたが、現在では一度も感染していない人は少数派となりました。ワクチンや治療薬の普及、ウイルスの性質の変化などにより、デルタ株の流行のころなどと比較して重症化リスクは大幅に低下しています。しかし、後遺症や一定の重症化リスクが残ることから、風邪と同列に扱うことは適切ではありません。統計的にも依然としてインフルエンザよりは死亡リスクは高い水準です。特に高齢者や基礎疾患を有するハイリスクの患者さんでは、今年の夏の流行でも重症COVID-19肺炎や細菌性肺炎の合併によって重篤化するケースは当院でも見られました。また、後遺症の問題もあり、身近には嗅覚異常が続く、頭がぼんやりする（医学用語ではありませんがブレインフォグ）など後遺症を訴える若手の医師たちもいました。したがって

COVID-19はいまなお重要な呼吸器感染症であり、特にハイリスク群の患者さんに対しては、重症化を予防すべくワクチン接種や抗ウイルス薬の処方を積極的に検討すべきと考えます。

2024/2025年のインフルエンザの大規模流行時には、COVID-19は小規模な流行にとどまりました。インフルエンザとCOVID-19の流行には相互作用があるのかどうかはまだよくわかっていないと思われます。複数の呼吸器ウイルスが同時期に流行する場合、一方の感染が他方を抑制する「ウイルス干渉」の可能性も指摘されることもあります。両ウイルス間での関係性は明確には示されていません。実際、コロナ禍ではインフルエンザの流行がほとんど抑制されましたが、これはウイルス干渉というよりもむしろ、世界的な人の移動や社会活動の強力な制限が主要因と考えられます。これは現実的ではありませんが、インフルエンザにおいては世界規模の行動制限や社会行動の変化によって流行が人為的に抑制できる可能性があるとも言えます。

そしてこれらの感染症以外にもRSウイルスなど冬季に増加する感染症は多く存在します。ARI（Acute Respiratory Infection：急性呼吸器感染症）サーベイランスをご存知でしょうか。

このサーベイランスは、急性上気道炎や下気道炎を引き起こす病原体による症候群全体を対象とし、インフルエンザやCOVID-19を含む多様な感染症を網羅します。ARIは飛沫感染などにより周囲へ伝播しやすいことが特徴です。COVID-19のパンデミックの経験をふまえ、ARIの流行動向を把握すること、また未知の呼吸器感染症の発生・拡大に迅速に対応できる体制を整備することの重要性が再認識されました。そのため、令和7年4月よりARIは感染症法上の5類感染症に位置づけられることとなりました。特定の疾患ではなく「症候群」として監視する方法は、米国をはじめ各国で標準的に導入されており、国内でも公衆衛生上の早期警戒や感染症対策の強化につながると期待されています。一方で、定点医療機関においては、多忙な日常の診療業務に加えて患者数報告や検体提出といった追加業務が生じるため、現場の負担が懸念されます。したがって、これらを含めた報告業務においては、常にシステムの効率化や不要業務の削減を行い、持続可能で実務に即した形へ改善を重ねていくことは保健行政には求められるとも考えます。



インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移（全国）  
（厚生労働省）

## 宮大医学部学生のページ



## 宮崎大学学園祭 第21回清花祭

清花祭清武キャンパス実行委員長 おいでみず 大出水 もとき 幹

日時：令和7年11月15日(土)・16日(日)

会場：宮崎大学木花キャンパス

宮崎大学清武キャンパス

今年度も、上記の日程で学園祭の開催が決定しましたのでお知らせいたします。今年のテーマは「彩風爛漫」です。学生一人ひとりの個性と情熱が鮮やかに咲き誇り、来場される皆さまに笑顔と活力をお届けできるような学園祭を目指します。社会全体が変化の時期を経て、あらためて人と人とのつながりや地域の温かさを感じる機会が増えてきました。本学園祭でも、地域の皆さまとともに楽しめる企画を多数ご用意し、学生のエネルギーと創造力で宮崎のまちに新しい風を吹かせます。

清武キャンパスでは、「清花祭」の前身である宮崎医科大学時代の「すずかけ祭」の伝統を受け継ぎながら、医学科・看護学科ならではの特色ある企画を展開します。その中でも、医学や看護学の知識を地域の皆さまと共有する「医学展」を中心に、多彩な催しを通して命や健康の大切さを感じていただける内容となっております。以下では、その一部をご紹介します。

## 清武キャンパス医学展

## &lt;気持ち企画&gt;

患者さんや医療従事者の気持ちを本という1つの形にして配布します。患者さんや医療従事者の気持ちにスポットライトを当てることで、お互いの「伝えなかったのは伝えられなかった

思い」に近づく機会となれば幸いです。

## &lt;なってみよう企画&gt;

主に児童、学生を対象とした医師体験や看護師体験、その他の医療にまつわるさまざまな体験を楽しむことができます。折り紙やバルーンなど、小さなお子様も楽しめる雰囲気の一部屋となっておりますので、ぜひお立ち寄りください。

## &lt;解剖・病理企画&gt;

この企画は、身体の構造や身近な病気について理解を深め、ご自身の健康について考えていただくことを目的としています。実物の病理標本や模型に加え、子どもたちにも気軽に楽しんでいただける塗り絵なども用意しています。医学や人体の面白さに触れていただければ幸いです。

## &lt;進路相談カフェ&gt;

医学・看護学を志す県内の中高生に向けて、現在の医学部生による進路相談や進学モチベーションアップにつながる企画をご用意しております。ぜひ、興味のあるお知り合いの方などにご紹介ください。

## &lt;年齢企画&gt;

脳、肌、血管、体力といった体の状態を「年齢」という数字を通して測定する企画です。ぜひご来場いただき、ご自身の健康に関心を持っていただければ幸いです。

## 清武キャンパス

	11/15(土)				11/16(日)			
	体育館ステージ		中庭ステージ		体育館ステージ		中庭ステージ	
	晴天時	雨天時	晴天時	雨天時	晴天時	雨天時	晴天時	雨天時
9：00								
9：30		Doc				コンテスト	コンテスト	
10：00			軽音 1					
10：30			軽音 2			Noverie		
11：00	ひばべら	軽音 1	軽音 3		Landing	土田陽菜子		
11：30		軽音 2	Doc		こども	こども	Noverie	
12：00		軽音 3					土田陽菜子	
12：30		ひばべら						
13：00		Produce381	管 打			Landing	クイズ	
13：30	すずかけ			fantastic five				クイズ
14：00								
14：30		すずかけ	produce381		Rockin'vein	ラブプロ	ラブプロ	
15：00		管 打			st ↑			
15：30					angry bird	Rockin'vein		
16：00	Anatomix	キズナ	キズナ			st ↑		
16：30						angry bird		
17：00								
17：30	バトル	Anatomix						
18：00		fantastic five						
18：30								
19：00		バトル						
19：30								

## 内容紹介

**軽音** 軽音楽部によるバンドの演奏です。

**鈴懸太鼓** 勇壮で力強く心震わす太鼓の演奏。

**管打楽器** 管打楽器の心を癒す美しい演奏。

### Doc

医学部ダンスサークルによる心まで踊るダンス。

### キズナ企画

学生でチームを組み、ゲームを通して友情を育む企画。

### コンテスト企画

仮装をした男の子がさまざまなゲームに挑戦。

### Produce381 (旧ミスキャン)

女子のプロデュース力と男子のプロデュースされる力を競います♡

### バトル企画

最も美しく、勇ましい男の子を決める清花祭が誇るイベントです。

### クイズ企画

普段見れない教授の意外な一面をクイズを通して暴く。

### ラブプロ企画

「ラブ♡・プロデュース」の略称であり、名

前のおりイベント参加者の方々のラブをつくる企画です。さまざまなゲームで盛り上がること間違いなし！

### こども企画

地域の子どもと一緒にミニ運動会！

### Landing

美しいアカペラをお聴きください

### ひばべら

医学科5年のアカペラ同期バンド。アカペラの魅力を楽しく、精一杯お届け。

### 土田陽菜子

さだまさしさんの曲を女性ボーカル、ギター弾き語りアレンジでお送りします。

### st↑

学祭有志によるバンド演奏

### angry bird

医学部6年によるバンド演奏

### Anatomix

学生有志によるバンド演奏

### Noverie

医学部1年によるバンド演奏

### fantastic five

03女子5人組でダンスを踊ります。楽しんでもらえたら嬉しいです。

### Rockin'vein

学生有志によるバンド演奏

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
10月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度病床機能報告及び外来機能報告の実施等について（通知）</li> <li>・医療法施行規則に基づき厚生労働大臣が定める方法の一部改正について（病床機能報告の方法に係る所要の改正）</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に悩む児童生徒への配慮について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の罹患後症状にお悩みの方への支援について</li> <li>・「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」の申請期限の延長について（周知依頼）</li> <li>・「電子処方箋の導入状況に関するダッシュボード」の機能追加について（情報提供）</li> <li>・「日本医師会医療事故調査費用保険」について（保険適用対象の拡充）</li> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> <li>・信用保証協会によるセーフティネット保証5号について（情報提供）</li> <li>・「医療用医薬品の供給問題への対応に係る行動計画」の策定について</li> <li>・要指導医薬品から一般用医薬品に移行する医薬品等について（通知）</li> <li>・放射性医薬品を投与された患者の退出について</li> <li>・臓器のあっせん業の許可等について</li> <li>・世界保健機関西太平洋地域事務局による風しん排除の認定について</li> <li>・労災補償給付に係る検査等について（協力依頼）</li> <li>・潜在介護支援専門員実態把握調査について（依頼）</li> <li>・後期高齢者医療制度の窓口負担割合の見直しに伴う配慮措置の終了に関するリーフレットの送付について</li> <li>・令和7年度「治療と仕事の両立支援シンポジウム」について（周知依頼）</li> <li>・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて</li> <li>・医療法施行規則の一部を改正する省令の公布について（通知）</li> <li>・予防接種実施規則の一部を改正する省令の公布並びに「予防接種法第5条第1項の規定による予防接種の実施について」の一部改正について</li> <li>・抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤及び抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について</li> <li>・セルセプトカプセル250等、セルセプト懸濁用散31.8%，ルマケラス錠120mg及びライアットMIBG-I131静注の医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について</li> </ul>



送付日	文 書 名
10月8日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ショート動画に関する周知並びにSNSなどでの拡散に関するご協力のご依頼</li><li>・ 医療法施行令及び医療法施行規則における「婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者」の取扱いについて（周知）</li><li>・ 厚生労働省委託事業「人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業」本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会に係る準拠認定申請について</li></ul>
10月10日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医療DX推進体制整備加算等の要件について（再周知）</li><li>・ 「電子処方箋の導入状況に関するダッシュボード」の機能追加について（情報提供）</li><li>・ 医薬品等マスタの早期の点検報告に向けた取組と今後について</li><li>・ 「アルコール関連問題啓発ポスター」の送付について</li><li>・ 「化学物質の人へのばく露量モニタリング調査」について（追加情報その2）</li><li>・ ラディオガルダーゼカプセル500mgの有効期間の延長について（通知）</li><li>・ 「医療法施行規則第三十条の三十三の六第一項の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法及び医療法施行規則第三十条の三十三の八の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法の一部を改正する告示」の公布等について（通知）</li></ul>
10月14日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本県における令和6年の梅毒報告状況について（通知）</li><li>・ 令和6年度介護報酬改定に関する通知等の送付について（その18）</li><li>・ 令和7年台風第22号に伴う災害の被災者に係るマイナ保険証又は資格確認書等の提示等について</li><li>・ 令和7年台風第22号に伴う災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について</li><li>・ 令和7年台風第22号に伴う災害に係る介護報酬等の柔軟な取扱い（基準緩和等）について</li></ul>
10月17日	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和7年度最低賃金額の改定等に関する周知・広報の実施等について（協力依頼）</li><li>・ 「病院の耐震改修状況」及び「医療施設の浸水対策等」の実態把握を含むEMISの医療機関基本情報の調査について（通知）</li><li>・ 厚生労働省が行う衛生検査所検査料金調査に対する協力について</li><li>・ 「私たちをもっと守る、マイナ保険証（第3弾）」動画のダウンロードサイトについて（周知依頼）</li><li>・ 公益財団法人日本医療機能評価機構医療事故情報収集等事業2024年年報及び第82回報告書の送付について</li><li>・ 「アルコール関連問題啓発ポスター」の送付について</li><li>・ 県民が安心して暮らせるための四師会協議会医療・介護人材の育成・確保対策ワーキンググループ第6回在宅ノウハウ連携研修「在宅医療はワンチームで～呼吸器～」オンデマンド配信について（ご案内）</li></ul>

送付日	文 書 名
10月17日	<ul style="list-style-type: none"><li>・厚生労働省「令和7年度動物由来感染症対策技術研修会」について</li><li>・シンポジウム「こどもの救急～夜，休日，急に具合が悪くなったときには？～」の開催について（日本医師会「地域に根ざした医師会活動プロジェクト」）</li><li>・第38回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」（2026年2月22日～23日）の開催について</li><li>・「特定診療報酬算定医療機器の定義等について」の一部改正について</li><li>・臓器の移植に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について</li><li>・令和7年度「津波防災の日」について</li><li>・令和7年台風第22号に伴う災害の被災者に係る定期検査等の取扱いについて</li><li>・令和7年台風第22号に伴う災害の被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について</li><li>・令和7年台風第22号に伴う災害に係るオンライン資格確認等システムにおける「緊急時医療情報・資格確認機能」をアクティブ化する医療機関・薬局の範囲・期間について（期間延長）</li></ul>
10月21日	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本医師会「かかりつけ医機能報告制度にかかる研修」修了申請・承認作業等のためのMAMIS操作解説動画の公開について</li><li>・「介護分野の行政手続に関する簡素化・利便性向上に係る要望受付フォーム」の周知について</li><li>・「5学会による新型コロナウイルス感染症診療の指針」の周知について</li><li>・令和7年度厚生労働省補助事業「外国人患者受入れに資する医療機関認証制度等推進事業」オンライン説明会（第1回）のご案内について</li><li>・「日本地域包括ケア学会第7回大会」の開催について</li></ul>
10月24日	<ul style="list-style-type: none"><li>・医療機関における面会について</li><li>・MAMISによる会費減免申請手続きの導入見合わせについて</li><li>・医療DXに関するシステムの導入等で活用できる補助金まとめ</li><li>・季節性インフルエンザ感染症及び新型コロナウイルス感染症に係る定期の予防接種の実施にあたっての留意点等について</li><li>・電子処方箋の導入阻害要因及び機能検討等に関するアンケートについて（協力依頼）</li><li>・令和6年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（令和7年度調査）への協力依頼（2回目）について</li><li>・疑義解釈資料の送付について（その30）</li><li>・放射性医薬品を投与された患者の退出について（通知）</li><li>・医療事故情報収集等事業第82回報告書及び2024年年報の公表について（通知）</li></ul>

送付日	文 書 名
10月24日	<ul style="list-style-type: none"><li>・再生医療等提供状況定期報告書等の記載要領について</li><li>・「臓器の移植に関する法律」の運用に関する指針（ガイドライン）の一部改正について</li><li>・児童福祉法第19条の第3第1項に規定する指定医の指定に係る事務取扱要領の一部改正について（通知）</li><li>・指定小児慢性特定疾病医療機関指定要領の一部改正について（通知）</li><li>・厚生労働省令和7年度介護デジタル中核人材養成に向けた調査研究事業一式「デジタル中核人材養成研修」に関する周知と受講勧奨のお願い（再周知）</li><li>・令和7年度死体検案研修会（基礎）の開催について</li><li>・令和7年度死体検案研修会（上級）の開催について</li><li>・「令和7年度中皮腫の診断精度向上のための講習会」のご案内</li><li>・令和7年度人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）普及啓発イベントの開催について</li><li>・人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）トークイベントの開催について（依頼）</li><li>・「令和7年度九州・沖縄地区医療安全に関するワークショップ」の開催について</li></ul>

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

# 医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

## 医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい...

## 医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談  
無料



まずは、お電話ください。

## 宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

**TEL.0985-20-1211**

FAX.0985-27-6550 E-mail [iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp](mailto:iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp)

## 日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

### ■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

### ■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

### ■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介します。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

### ■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

### ■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

### ～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

### ■ 掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

### ■ 原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただきます場合があります。

### ■ 日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

### ■ すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】 ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

## あとかき



32年前、宮崎医大に入学した当時、周囲から「宮崎に來たならサーフィンとゴルフはやっておきなさい」とよく言われたものです。当時、サーフボードもウエットスーツも高価で、大学の部室に置いてあった穴の空いたウエットスーツや、所々欠けたサーフボードを借りて海に入っていました。アルバイトで少しずつ道具を揃え、

ポリタンクにお湯を入れて、毎日のように海へ向かっていたものです。決して上手なサーファーではありませんでしたが、20年ほど続けました。特に宮崎市や日向市は海が近く、サーフィンを楽しむには理想的な環境でした。一方、ゴルフにはなかなか縁がなく、医師になってから医局に置いてあった古いゴルフセットを先輩から「持っていけ」と譲られたものの、当時は時間もお金もなく、なんとなく敬遠していました。45歳を過ぎたころ、先輩方の勧めもあってようやくゴルフデビュー。以来10年程続けていますが、これがなかなか上達しない。そこがまた面白いところでもあります。宮崎のゴルフ場はどこも自動車で30分以内に位置しており、アクセスしやすいところが魅力です。サーフィンにしてもゴルフにしても、宮崎は一年を通して楽しめる希有な土地柄です。最近の夏は暑さが厳しく危険な日もありますが。学会に出かけるときには、1日はゴルフを組み込み、日本各地のゴルフコースを巡ることを楽しみにしています。

(國枝)

\* \* \*

関西に進学している娘と遊び歩いています。8月に土郎正宗展+大阪万博へ。9月には大阪城の海洋堂ミュージアム+京都南座で歌舞伎を。10月は姫路城+倉敷大原美術館へ行ってきました。今月は大阪でコンサートの予定です。生き急いでおります。しかし旅が終わるとぐったりです。体力低下を実感しております。

(菊池)

\* \* \*

たまにルービックキューブを解きます。私は自宅と職場の机の上に1個ずつ置いています。達人のように短時間で揃えることはできませんが、3~4分あれば6面を揃えられます。「1面揃えるのがやっと」という方も、YouTubeの「ニュー高橋メソッド」で学習すれば誰でも確実に揃えることが可能です。久しぶりに取り組むと手順を忘れていることもあるため、その時は動画を見直します。指先を使うので、頭の体操や気分転換によいと思います。

(下窪)

\* \* \*

10月の3連休で自治医大28期生の卒後20年の節目の同窓会に行ってきました。北海道~沖縄の約30名の同級生が東京駅近くの店に集まりました。毎回、幹事をしてくれている同級生に感謝しつつ、4次会まで楽しんでできました。気を許せる仲間との時間はとても貴重で、心からリフレッシュできました。6年間の寮生活のおかげで、強い絆を築けたのだとあらためて感じました。これから年を重ねても、定期的に集まって同級生との時間を楽しみたいです。

(高村)

私事ですが、先日クリクラI到達度試験に無事合格しました。試験勉強中はこの1年間が思い起こされて、たくさんのことを学ばせていただいたと改めて感じました。休みの期間は映画をたくさん見る予定です。トロン：アレスを早く見に行きたいです。サブスクはいつの間にか映画の合間に広告が流れるようになっていて、気になる映画は映画館で見なければいけないと思うようになりました。

(宮本)

\* \* \*

9月末と10月頭に、滑り込みで万博に行きました。歩くのも困難なほどの人混みでしたが、大屋根リングを生で見て、近未来的なデザインのパビリオンを眺めながら歩いて、雰囲気味わえただけでも満足しています。個人的には、日本館の「壊れやすくすることで長く使う工夫」「単純な部品を使うことで使いまわす工夫」などの展示がとても面白かったです。環境への配慮という新しいテーマと、日本の伝統的な工法という古くからのものをリンクさせているのが印象的でした。

(安丸)

\* \* \*

高市総理は、診療報酬改定を待たずしての病院・介護施設への経営支援を表明していて、心強いかぎりです。しかしその一方で、連立を組む日本維新の会は年4兆円もの医療費削減を公約にかかげており、将来の医療機関の経営には一抹の不安が残ります。また総理は早い時期での衆議院解散に踏み切るのではないかと予測するむきもあり、政局からは目が離せません。

(佐々木)

## 今月のトピックス

### 会長のページ 地域医療の原点

現在、医療界を取り巻く環境を憂い、問題提起されています。活字として表現していただきますと明確になります。我々に何かできることはないのでしょうか。 3 ページ

### 日州医談 医師国保のメリット

開業医、勤務医、パート各々に入会のメリットがあるのですね。自家診療の件も納得できました。 4 ページ

### 随 筆 老いに気付く時

谷口先生が実体験で感じられたことを丁寧に記載されています。先輩が歩まれた道は我々がこれから歩いていく道です。参考になります。これからも、どんどん教えてください。 8 ページ

### 旅 行 記 日本縦断ドライブ その2

現状では、車で日本縦断ができない我々に疑似体験させていただきありがとうございます。行ったことがない各地に連れて行っていただいているようです。 12ページ

### メディアの目 初めての入院、初めての断テレビ、初めてのオールネット社会

メディアのプロが、ネットの情報選択、フェイクへの注意を述べられています。間違った情報に誘導されかねない現代に恐ろしさを感じます。どの情報が信頼できるのでしょうか。 16ページ

(文責：石田 康行)

日 州 医 事 第915号 (令和7年11月号) (毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,  
國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 家村 和奈, 宮本貴由樹, 野間 貫太, 安丸 佳苗

担当副会長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)